

明治大学
国際日本学部
School of Global Japanese Studies



日本と世界をつなぐ

METJI
UNIVERSITY 2027

世界

アフリカの国々が抱える貧困や 食糧問題の解決に貢献できる人へ

両親と東アフリカにある島国・モーリシャスへ行ったときのこと。リゾート地の豊かさとその周辺に住む貧しい人々の間に横たわる大きな格差を目の当たりにしました。あの時感じた「なぜ、こんな格差があるのだろう」という問いが、今も私の学びの原点になっています。

授業では、植民地支配など歴史的な問題が現代社会にも影響を与え続けていることや、アフリカ系アメリカ人の音楽が、人権や差別への抵抗を表現する手段であったという事実に触れ、歴史や文化と社会課題の結びつきに衝撃を受けました。

将来は、非政府組織などの活動で国際協力の分野に携わりたいと考えています。

2年

佐々木 アリサさん スイス ザンクト・ガレン州 Kantonsschule am Brühl 卒業

世界の格差をなくしたい

1

ポップカルチャーの国際現象

アニメやゲームなどの先端文化が世界に広がる現象を、その背景にある社会やビジネスの仕組みから探ります。



3

国際政治・経済の複合的課題

国際関係史や国際法、東アジア共同体論を通じて、地球規模の複合的危機を政治・経済の視点から分析します。



2

グローバル社会の共生と多様性

多文化共生論、ジェンダー、移民政策など、グローバル化が進む世界で不可欠な多様性と共生の課題に向き合います。



© 国日放題

5

デジタル化時代の社会分析

AIやテクノロジーの社会への影響、社会調査、統計学を活用し、論理的なデータ分析に基づく課題解決力を養います。



© 国日放題

4

言語・表現文化と教育

日本語教育や英語教育、伝統芸能の研究から、言語や身体表現が持つ文化的意義と教育のあり方を考察します。



CONTENTS

学部コンセプト	01	基礎教育・専門科目	19	座談会 国際日本学部での学びとは?	27
国際日本学部の概要 国際日本学部12の特色	03	研究領域紹介		卒業後の進路	29
特集①英語教育	05	ポップカルチャー研究領域	20	卒業生からのメッセージ	31
特集②留学プログラム	07	社会システム・メディア研究領域	21	教員紹介・研究テーマ	32
特集③多文化共生キャンパス	11	グローバル共生社会研究領域	22	入試情報	33
カリキュラム概要	13	国際文化・思想研究領域	23		
学びの流れ		日本文化・思想研究領域	24		
1・2年次	15	日本語研究領域	25		
3・4年次	17	英語研究領域	26		

※登場する学生の在籍年次や卒業生の肩書等は2025年度のもので、2025年以前撮影の写真も掲載しています。

国際日本学部12の特色

ポップカルチャー研究領域

マンガ、アニメ、ゲーム、特撮など日本の先端文化が世界から注目を集めています。それら作品の主題や表現とそのメディアや産業とのかわり、制作を支える技術や流通の形態、国内外における受容のあり方やファン文化、歴史の変遷やその時々の社会的影響などを多角的に分析します。その追求を通じて、現代日本文化と世界とのかわりを考えます。

▶ 詳細はP.20

社会システム・メディア研究領域

現代日本の基盤となっている社会・経済システム、産業組織、企業経営、メディアなどの最先端の様相とその特質、優位性、課題について知見を深めています。同時に、それらを世界と照らし合わせつつ発信し、ビジネスやインフラを高度化させていくための新たな方法を求めています。

▶ 詳細はP.21

グローバル共生社会研究領域

「世界で活躍する人材」の養成を目指して、国際関係や世界各地の地域研究、多文化共生・異文化理解に関する科目を充実させています。多様な文化背景を有する人々とともに働き、ともに生活することができるように、異文化リテラシーを高め、ダイバーシティ社会を支えるための基礎を修得します。

▶ 詳細はP.22

国際文化・思想研究領域

世界各地の文化は、日本を含め、相互に影響しながら発展してきました。歴史、文学、芸術、宗教、哲学といった人文学の諸分野を横断し、様々な地域の古典から現代の最新状況にいたるまで幅広く学びながら、いま私たちが生きている世界がどのように成り立っているのかを考えます。

▶ 詳細はP.23

日本文化・思想研究領域

グローバル化が進化する時代で活躍するには、外国の文化を受信するだけでなく、日本の文化を発信する能力が不可欠です。その能力を獲得するためには、日本の文化や思想を客観的に見る視点を養い、日本の文化や思想に関する幅広い知識を身につけ、その本質を見極めようとする努力が必要です。思想・哲学から伝統文化までその本質に触れながら日本の心を学びます。

▶ 詳細はP.24

日本語研究領域

現在私たちが使っている日本語とはどのような特徴を持った言語なのでしょう。世界のほかの言語と比較することや歴史的な背景を学ぶことなどを通して、現代日本語の面白さを再発見していきます。

▶ 詳細はP.25

英語研究領域

母語は無意識で習得できるのに、なぜ第二言語を習得するのは難しいのでしょうか。どうすれば効果的な英語教育ができるのでしょうか。言語学の分野を中心に実践に生かせる理論を学びます。

▶ 詳細はP.26



グローバル化が進み、多様化する現代社会で活躍できる能力を培うことが国際日本学部の教育の使命だと考えています。国際日本学部12の特色は、目標達成のために構築されたカリキュラムを目的意識をもって学んでいくための指針です。

国際教育交流の推進

海外留学の経験は、国際的な視野の育成とともに外国語能力の向上のためにも重要であります。国際日本学部の学生にとっては、日本を相対化して捉え、日本研究をさらに深化させる契機としても大きな意義を持っています。そのためにも英語圏を中心に、短期留学も含めた多様な留学制度を整備し、正課授業の一環として海外留学の促進を図っています。

▶ 詳細はP.7~10

多文化共生キャンパスの創成

豊富な国際経験を有した国内の学生や多様な文化的背景を持った外国人留学生を積極的に受け入れています。そうして形成された多文化コミュニティの中で、国籍や民族などの違いを越えてともに学び、講義やゼミ活動、さらにキャンパスライフを通して、実践的に外国語能力や異文化理解力を磨いていきます。

▶ 詳細はP.11

少人数クラスでの実践的な英語教育

英語の総合的なコミュニケーション能力を磨き、英語で自分の意見を表現し、情報を発信できる能力を育成します。1・2年次は、英語能力試験の結果に基づいて習熟度別の少人数クラスで集中的な英語教育を実施します。また、英語の授業は専任のネイティブ・スピーカー教員を含む英語教育の専門家が担当します。

▶ 詳細はP.06

日本と世界をつなぐ日本語教育

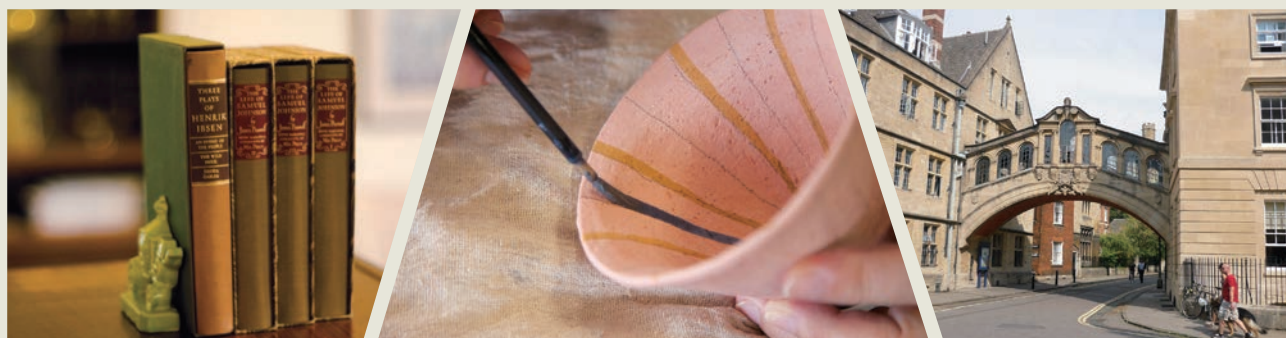
日本の文化や社会について深く理解し、その知見や情報を発信していくためには、十分な日本語能力が不可欠です。国際日本学部では、日本語を母語としない学生を対象に、入門レベルから上級レベルまで一貫したカリキュラムで独自の日本語教育プログラムを提供し、大学での学びや研究に必要な日本語能力を養成していきます。

▶ 詳細はP.19

総合的な教育プログラム

社会人文学、ICT(Information & Communication Technology)、日本語表現技術など幅広く学べる総合教育科目、少人数で行う演習、社会連携、実践型の科目、第二外国語などがきめ細かく用意されています。

▶ 詳細はP.19



徹底的な英語教育

英語カリキュラムの7つの特長

国際社会で活躍するためには、シチュエーション別に異なる英語力を使い分けなくてはなりません。議論の場では、明確で説得力がある自分の主張を展開でき、速いスピードで話されても相手の意見を理解できる能力。発表の場では、専門的な事柄に関して論理的にプレゼンテーションができ、理由や関連事項を詳しく説明できる能力。エッセイやレポートを書く場合は、自分の考えや情報を正確に表現でき、論旨を論理的に展開できる能力が求められます。このような英語力を外国語検定試験の数値で表すと、TOEIC L&Rなら800点以上、TOEFL iBT(アメリカやカナダの大学へ留学する際に要求される英語能力テスト)なら80点以上は必要となります。国際日本学部で

は、これらのスコアを多くのビジネスシーンをカバーできる英語力の基準と捉え、到達目標として掲げています。これらのスコアは平均的な高校生(TOEIC L&R IPテスト441点^{注1})が大学に入学して普通に英語を学習していたのでは、クリアすることはほぼ不可能です。皆さんが到達目標を達成できるように、国際日本学部では第二言語習得理論に基づいた科学的な英語カリキュラムを用意しています。英語があまり得意でない人は得意になるように、英語が得意な人はさらに上のレベルを目指すようにデザインされた、日本でも有数の大学英語カリキュラムです。

1. 英語漬けの時間割

英語の必修科目は1年次に3科目各週2回、2年次に4科目各週2回・1科目週1回実施されます。また、必修科目以外にも英語力を高めるための選択科目が用意されているため、毎日英語漬けの時間割を組むことも可能です。1・2年次に集中的に英語を勉強することで、確実に英語力を身につけます。

2. 習熟度別の少人数教育

英語必修科目のクラスは習熟度別に大きく6〜7クラスずつ、3つのレベルに分けられています。各レベルに複数クラスが設けられていますが、同一レベル内のクラスの習熟度に差はありません。また、全クラスが20名強の少人数クラスですので、自分に合ったレベルできめ細かい指導が受けられます。

3. 豊富な選択科目

Literature Reading、Practical Drama、Integrated English、TOEICやTOEFLの準備講座など、英語の総合的スキルや関連分野を勉強できる選択科目が豊富に用意されています。必修科目に加え、選択科目を履修することで、更に英語力を高めることができます。

4. 2年次秋学期以降は海外留学へ

2年次の秋学期以降に、海外の協定校等へ正規の学生として留学することを目指しています。また、1年次の夏休みから参加できる1カ月程度の短期留学プログラムも用意されています。例年、1年次修了時点で、約200名の学生が協定留学の一般的な出願要件であるTOEFL iBTのスコア(61点)に到達しており、その後留学へ挑戦しています(短期プログラム含む)。

5. 統一のカリキュラムと教材

同一レベル内においては、クラスが異なっても、統一カリキュラム・教材を採用しているため、同じ進度で勉強します。そのため、クラスや担当教員によって、学習内容・進度・指導方法が異なることはありません。

6. 英語教育専門の教授陣

英語カリキュラムを担当するのは、ネイティブ・スピーカーを含む英語教育が専門の教員です。多くの教員が、欧米の大学院でMATESL(第二言語としての英語教授法修士号)を取得しているため、どのように指導すれば学生が効率良く英語を習得できるか熟知しています。授業では、文法訳読方式などの言語習得に非効率な指導法は用いませぬ。日本語を介さず、学生に英語のインプットを大量に与え、アウトプットできる機会をできる限りつくり、コミュニケーションできる機会を多くつくりたいです。

7. 会話を実践する English Conversation Hours

ネイティブ・スピーカーの教員が担当するEnglish Conversation Hoursでは、学生が教員を訪問し、授業の疑問点について質問したり、学習方法のアドバイスをもらったりして、授業以外で学生が英語を多く使えるように工夫されています。普段の授業でなかなか話せない場合でも、この時間を利用して、会話に慣れることができます。

[各英語科目の内容について]

英語科目で学ぶ内容の詳細を知りたい方は、シラバスを参照してください。

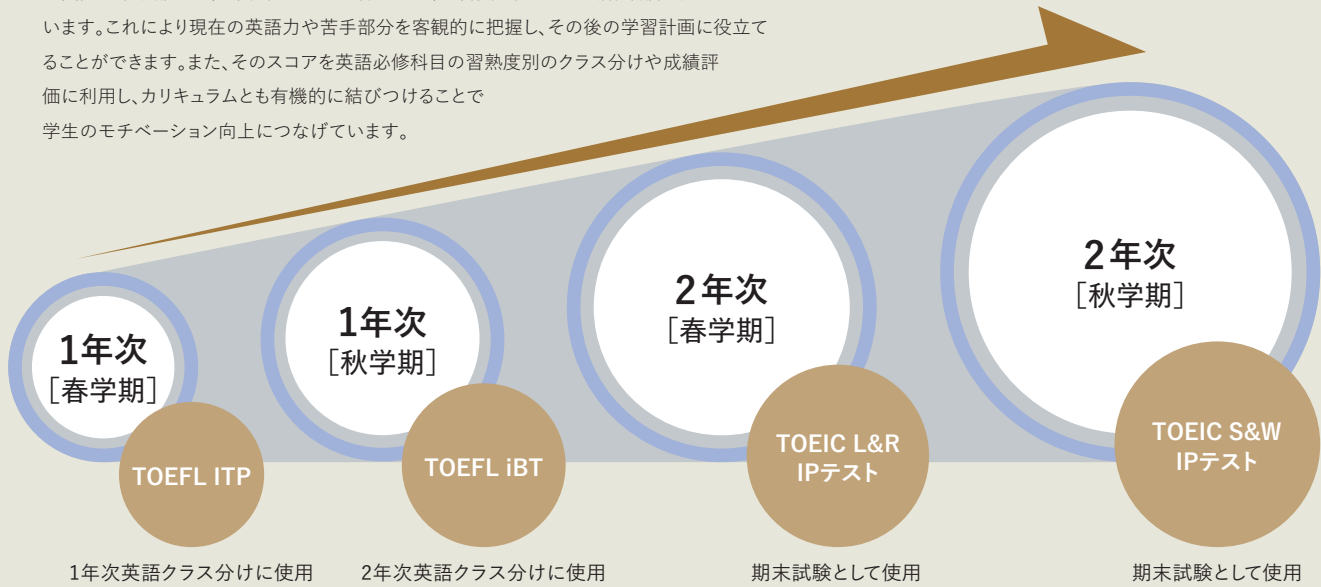
国際日本学部シラバス



(注1) 出典：一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会「TOEIC Program DATA & ANALYSIS 2025」より

英語外部試験の活用

国際日本学部では、2年次修了までの各学期に、実習費を使用して英語外部試験を実施しています。これにより現在の英語力や苦手部分を客観的に把握し、その後の学習計画に役立てることができます。また、そのスコアを英語必修科目の習熟度別のクラス分けや成績評価に利用し、カリキュラムとも有機的に結びつけることで学生のモチベーション向上につなげています。



※TOEFL iBTとは現在の日本における公式なTOEFLテストで、コンピュータを利用して受験し、4技能(Speaking, Listening, Reading, Writing)をすべて測定します。
 ※TOEFL ITPとはTOEFLの団体向けテストプログラムで、出題形式はかつてのペーパー版TOEFLと同一でReading, Listeningを測定します。
 ※TOEIC L&R IPテストとは実際に使用したTOEIC L&R試験の問題を使用し、学内で自由に実施する団体特別受験制度のことで、(TOEIC L&RはTOEIC Listening & Reading TESTの短縮名称です)
 ※TOEIC S&W IPテストとは実際に使用したTOEIC S&W試験の問題を使用し、学内で自由に実施する団体特別受験制度のことで、(TOEIC S&WはTOEIC Speaking & Writing TESTの短縮名称です)

▶ TOEFL への取り組み

留学に必要な英語力習得を目的に、TOEFL試験を受験する学生に対して、授業のほかに以下のような支援制度を実施しています。

- ▶ TOEFL試験に関するガイダンスの実施
- ▶ TOEFL iBT試験の受験料を補助(上限あり)

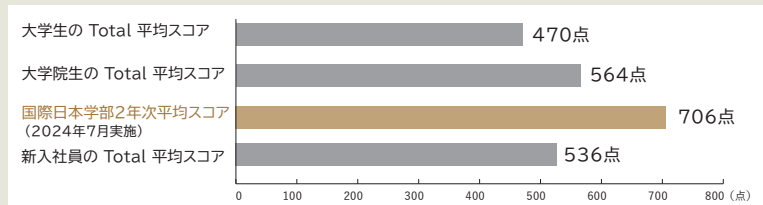
この結果、TOEFL iBTの平均点(1年次)は63点となっていて、200名以上の学生が「アカデミック 留学・インターンシッププログラム」(P.09)に必要な英語力を習得しています(2025年1月現在)。

出典：一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会「TOEIC Program DATA & ANALYSIS 2025」より
 TOEICはエデュケーション・テストング・サービス(ETS)の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けたその承認を得たものではありません。

▶ TOEIC L & R への取り組み

2年次の必修科目としてTOEIC Preparationを設置し、週1回受講します。授業の中では試験対策にとどまらず、将来のビジネスや国際社会で活躍できるよう会話やライティングなども取り入れています。また3・4年次を対象にTOEIC L&Rの受験料補助制度も導入しています。

▶ 2024年度 TOEIC L & R 団体特別受験制度 (IPテスト) 受験者数と平均スコア一覧



STUDENT VOICE



4年 藤田 陽梨さん

長崎県私立聖和女子学院高等学校卒業

少人数で質問しやすい英語教育。 苦手なエッセイも表現力アップ。

国際日本学部では、1年次から英語必修科目が用意されており、徹底的に英語四技能を磨くことができます。また、英語のクラスは20名ほどの少人数で構成されているため、先生に質問もしやすくアットホームな雰囲気です。私はエッセイを書くことが苦手でしたが、担当の先生が的確なフィードバックをくださったおかげで表現力が身につき、今では800字以上のエッセイをスラスラと書けるようになりました。

また、ネイティブ・スピーカーの先生が授業を担当していただくため、フランクな言い回しや単語の細かなニュアンスの違いなど、実践的な英語を学ぶことも魅力の一つです。さらに、自由に参加できるEnglish Conversation Hoursでは、担当以外のネイティブの先生や他クラスの学生とも交流でき、国内にいながら英語力を伸ばせる環境が整っています。

世界から日本を見る ～充実した海外留学制度

海外留学プログラム

年間約300人の学生が海外留学を経験する国際日本学部。

国際日本学部生は、大学(国際教育センター)主催の海外留学プログラムに加えて、

国際日本学部主催の海外留学プログラムにも参加可能です。

このページでは、学部が主催する海外留学プログラムについて詳しくご紹介します。

明治大学全体の海外留学プログラムについてはコチラから検索できます。



※国際日本学部では、より質の高い学修機会を提供するため、現在、海外留学プログラムの再構築を進めています。掲載内容は2025年度の募集内容に基づいており、今後変更または中止となる場合があります。

短期留学プログラム



短期間の留学を希望する場合は、長期休業期間を利用して約3～4週間の短期留学プログラムへ参加することができます。短期留学プログラムは1年次の学生も参加することができ、国際日本学部では現在、「海外ボランティア」をテーマとして短期留学プログラムを実施しています。プログラムを修了し、諸条件を満たした場合に単位が認定されます。

▶ 海外ボランティアプログラム



約3～4週間、同世代の現地学生とともにボランティアに参加するプログラムです。プログラムを通じて、異文化への相互理解と多文化社会への適応力を養成することを目的としています。

▶ ICYE Japan 海外ボランティアプログラム ＜国際日本学部 認定＞

約3～4週間、ICYE Japan(特定非営利活動法人 国際文化青年交換連盟日本委員会)が実施する海外ボランティアのうち、学部が指定したボランティアプログラムに限り、諸条件を満たした場合に単位認定の対象としています。

国際教育センター主催 短期留学プログラム

北米、欧州、アジア、オセアニアなど約15カ国・地域に、語学能力向上を目的とした語学研修の他に、インターンシップや専門講義を受講するなど、語学+αの経験ができる留学プログラムも数多く取り揃えています。



中長期留学プログラム



1・2年次に集中的に英語を学習し、留学に必要な英語力を身につけた学生は、2年次秋学期以降に約半年から1年間の留学に参加する機会があります。留学先で修得した単位を国際日本学部の単位として認定することができるので、各種条件を満たせば、留学期間を含めて4年間で卒業することができます。

▶ 学部間協定留学

(アカデミック 留学・インターンシッププログラム)



学部が独自で協定を結んでいる協定校への留学プログラムです。現在、アメリカ合衆国・イギリス・スウェーデン・シンガポールの14大学・コミュニティカレッジと協定を締結しています。留学プログラムでは、現地の大学生と共に学び・交流し、海外大学やカレッジのキャンパスライフを経験することができます。インターンシッププログラムでは、授業で学んだことを海外において業務実習の場で実践することができます。

注目

フロリダ州立大学 ディズニー・アカデミック・インターンシッププログラム

学部間協定校のフロリダ州立大学による異文化コミュニケーションをテーマとした授業を受けながら、ウォルト・ディズニー・ワールドにてキャストとしてインターンシップに参加することができる、国際日本学部が主催する人気プログラムです。

大学間協定留学

中長期留学に参加した国際日本学部生の約半数は、大学間協定留学を利用しています(2025年度実績)。

40以上の国・地域、200以上の留学先が大学間協定校として存在しており、留学先として選択可能です。



短期留学プログラム(夏季・春季休業期間中に3~4週間)

▶ 海外ボランティアプログラム

ブディール大学(インドネシア)

ジャカルタ西部に位置し、1979年に創立された私立大学。小・中・高校や孤児院、老人ホームにおける文化交流や日本語教師アシスタントなどのボランティア活動を通じて、社会的な課題や国際交流などに目を向けていきます。そして、現地の学生と一緒に活動を行うことで異文化への相互理解を深め、国際社会への適応力向上を目指します。



STUDENT VOICE

海外ボランティアプログラム体験記



留学先 ブディール大学(インドネシア)
留学期間 2023年8月

木内 彬乃さん

東京都私立江戸川女子高等学校卒業

インドネシアに根付く文化や歴史を短期間で実践的に体験できる点に魅力を感じ、参加を決めました。特に印象的だったのは、現地の中高生を対象に行った日本語や日本の伝統文化の体験型ワークショップです。私は教師として参加し、広い教室で現地の生徒たちに伝わりやすいように、文法は過度に意識せず、簡単な英語とジェスチャー、大きな声での説明を心がけました。自分の考えが正しく伝

わり、生徒たちの歓声や笑顔に包まれた経験は今でも忘れられません。

プログラムを通じて、英語を駆使して、相手に分かりやすく説明できるようになったと感じています。今後、ビジネスの場はもちろん、旅行やボランティアなど、様々な局面で積極的に英語を使用していきたいです。

▶ 国際日本学部認定 ICYE Japan 海外ボランティアプログラム

ICYE Japan(※)が実施している海外ボランティアプログラムのうち、学部が指定したものに限り、国際日本学部認定海外ボランティアプログラムとして、諸条件を満たした場合に単位認定の対象としています。例年、夏季と春季に実施しており、2025年度はサンフランシスコ低所得者支援/保育園チャイルドケアボランティア、ベトナム児童福祉ボランティア、インドネシア日本語教育ボランティアが対象となりました。

※ICYE Japanは、特定非営利活動法人 国際文化青年交換連盟日本委員会です。



STUDENT VOICE

ICYE Japan 海外ボランティアプログラム体験記



留学先 アメリカ
留学期間 2023年8月~2023年9月

参加プログラム サンフランシスコ低所得者支援 埼玉県立熊谷女子高等学校卒業

伊藤 由夏さん

自分と異なる社会的背景や文化に触れたいと思い、留学を決意しました。現地で最も衝撃を受けたのは、週末の過ごし方です。サンフランシスコの人々にとって週末は家族全員で出かけることが当たり前。さらに、公園に行ってスポーツをしたり、パーティーを開いたり、SNSとは離れた生活が営まれていました。彼らの生活がストレスフリーにつながって

ると感じた私は、読書、料理などの趣味を家族と共有しながら、帰国した今でもデジタルデトックスを意識した休日の過ごし方を実践しています。

短期間ではありましたが、自分の習慣や先入観を見直す良い機会になりました。今後はアメリカだけではなく、他の国の文化についても学び、自分の常識を広げていきたいです。

Q&A 短期留学プログラム編

Q 留学費用のサポートはありますか？

Answer 2025年度より、国際日本学部主催の短期留学プログラムおよび海外渡航を伴う正規授業科目参加者に対して、学部独自の返還不要な(給付型)助成金制度を設けています。(ICYE Japan海外ボランティアプログラムは対象外)

中長期留学プログラム(1学期間・1学年間)

▶ 学部間協定留学(アカデミック 留学・インターンシッププログラム)

学部間協定留学には【交換型】と【授業料負担型】の2タイプがあります。いずれも休学せずに留学することができ、諸条件を満たせば、留学先で修得した単位の単位認定制度や学部・大学の外国留学奨励助成金への申請が可能です。

【交換型】: 留学期間中、明治大学の学費を納入すれば、留学先大学の授業料は免除されます。

【授業料負担型】: 明治大学と留学先大学の両方の学費を支払う必要があります。

〈国際日本学部 学部間協定校〉

アメリカ合衆国 United States of America

フロリダ州立大学
—社会科学・公共政策学部、
アート・サイエンス学部【交換型】
—ディズニー・アカデミック・インターンシップ
プログラム
ニューヨーク州立大学ニューバルツ校
エドモンズカレッジ
エベレットコミュニティカレッジ

グリーンリバーカレッジ
ピアスカレッジ
ショアラインコミュニティカレッジ
ピートカレッジ
フットヒルカレッジ
オローニカレッジ
ハワイ大学 カピオラニコミュニティカレッジ

シンガポール Singapore

シンガポール国立大学人文・社会科学部【交換型】



オックスフォード大学
ハートフォードカレッジ



セーデルトーン大学

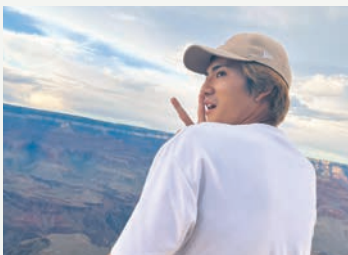
イギリス United Kingdom

オックスフォード大学 ハートフォードカレッジ

スウェーデン Sweden

セーデルトーン大学

STUDENT VOICE 学部間協定留学体験記



留学先 フットヒルカレッジ (アメリカ)
留学期間 2022年9月～2023年6月

堀内 泰佑さん

東京都私立成立学園高等学校卒業

留学先であるカリフォルニアは「人種のるつぼ」といわれる地域です。価値観の違いなどを学びたくて選択しました。留学先ではシェアハウスに住み、そこで培ったのは自己主張する力です。もともとディスカッションでは発言に消極的でしたが、自分の考えを伝えることが大切だと学び、様々な局

面で円滑なコミュニケーションが取れるようになりました。自分の意見をもって取り組むことは、働くうえで大切だと考えます。将来は人とたくさんかかわれる仕事に就き、留学で得た力を活かしながら、チームとして動ける人間になりたいです。



留学先 セーデルトーン大学 (スウェーデン)
留学期間 2023年2月～2023年6月

水垣 結衣さん

東京都立青山高等学校卒業

「海外とはどんな場所なのか」を自分の肌で感じたいという強い思いから、大学生になったら留学したいと考えていました。留学先ではたくさんのすてきな出会いに恵まれました。年齢や性別、国籍、考え、バックグラウンド、価値観、時間感覚など、異

なる部分が多くて驚きましたが、出会った方一人ひとりの「やりたいことを、やりたいときにやる」という姿がとても魅力的でした。誰とでも分け隔てなくかかわれるようになり、違いに捉われずその人を見ることができるようになったと感じています。

Q&A 中長期留学プログラム編

Q 海外留学のためのカリキュラムはありますか？

Answer 国際日本学部では、留学先での学びが円滑に進むよう、英語教育に力を入れています。1年次では週6コマ、2年次では週5コマ、必修授業があり、多数のネイティブ教員が担当する20名強の少人数クラスで学びます(英語教育についてはP.5～6参照)。また、「海外留学入門」、「異文化間教育」、「国際教育交流論」といった留学関連の科目も設置しています。

Q 毎年、何名程度の学生が留学しますか？ 留学希望者は全員、参加できますか？

Answer 留学は必須ではありませんが、2025年度は大学(国際教育センター)主催・学部主催の海外留学プログラムに短期留学含め約300名の国際日本学部生が参加しました。中長期留学は、学内選考(インターンシップの場合は、受入先による面接選考もあり)に合格後、留学先大学への出願と入学許可を経て参加が可能です。

Q 海外留学関連費用はどのようなものがありますか？ また留学費用のサポートはありますか？

Answer 留学期間中の明治大学学費に加えて、留学に関連してかかる費用として、留学先の授業料(授業料負担型留学の場合)、航空運賃、住居費、現地生活費、その他ビザ申請料や海外旅行保険代金等が挙げられます。渡航先や現地での生活スタイル、為替レートの変動等により大きく変動しますので、事前にきちんと計画を立ててください。留学費用のサポートとして、大学及び学部独自で、返還不要(給付型)の「外国留学奨励助成金(授業料助成・経費助成)」を用意しており、中長期留学に参加する約9割の学生が利用しています。

Q 留学をしても4年間で卒業できますか？

Answer 国際日本学部では、留学によって不利益が生じないよう、留学先で取得した単位を国際日本学部の卒業要件単位として認定できる制度や、留学期間中の国際日本学部における必修科目(英語科目)の履修免除等の特別措置を設けています。大学の留学プログラムを利用して留学した場合、休学をせず留学することができ、またこれらの制度により、留学を経験しても多くの学生が4年間で卒業しています。

注目

フロリダ州立大学 ディズニー・アカデミック・インターンシッププログラム

フロリダ州立大学(フロリダ州都・タラハシー)にて1週間程度の導入授業を受講後、フロリダ州中部のオーランドにあるウォルト・ディズニー・ワールド(WDW)に移動し、各職場のオリエンテーション・トレーニングを受講します。その後、WDWのキャストとして実際に働く有給インターンシップを行います。インターンシップ中もフロリダ州立大学が実施する講義や課題提出等が行われ、単位が付与されます。プログラム参加には、学内選考に加えて、WDW採用担当者による面接選考を受け、合格する必要があります。

2026年度 派遣(参考)

【留学時期】8月上旬～1月末(6カ月間)
【派遣人数】約75名(うち、約一割は他学部生)



ディズニー・アカデミック・インターンシッププログラム(DIP) \ 参加学生の声 /



Q なぜディズニー・アカデミック・インターンシッププログラム(DIP)に参加しようと思ったのですか？

Answer 幼少期からディズニー好きだった私にとって、ディズニーで働きながら英語が学べる環境に惹かれました。

Answer 自分で給料を稼ぎ留学費用をおぎなえることが魅力的でした。

Answer 初めての海外経験で不安も多かった中、同じ学部の仲間たちと参加できることが心強く、切磋琢磨できると思ったからです。



Q 人気プログラムということですが、選考は厳しいですか？

Answer 募集人数は他プログラムに比べてかなり多いので、それほど倍率が高いわけではありません。応募には指定のGPA(成績)と英語要件をクリアする必要があります。

Answer 選考よりも、選考後の留学に向けてのタスク(フロリダ州立大学(FSU)やWDWへの書類提出やビザ申請、予防接種等)の方がやる事が多く、意外と大変でした。出発までGPAを維持する必要があるため、学業と並行して取り組みました。



Answer 学内選考通過後にWDW採用担当者による面接選考も通過しなければならないので、ある程度のSpeaking・Listening能力が必要かなと思います。合格した後も、出発するまで英語の勉強を続けていました。



Q プログラム参加の感想や、DIP参加を考えている後輩のみなさんに一言どうぞ！

Answer DIPで過ごした6カ月間は新たな人や文化との出会いが本当に多く、間違いなく私の人生の糧になる経験をする事ができました。ぜひ留学を迷っている人は一歩踏み出してほしいと思います。

Answer 2年生で参加する学生が多いですが、私は4年生でプログラムに参加しました。就活の関係で3・4年生で参加することに不安を感じることも多いかと思いますが、それを上回る貴重な経験ができます！



Answer 実用的な英語能力が身についたと感じることはもちろん、FSUで学ぶ異文化間コミュニケーションを働きながらリアルに感じ、また、同僚や上司とゲストを楽しませる方法を考えながら働くことでホスピタリティを実践的に理解できました。



多文化共生キャンパスの創成

世界から集う学生



国際日本学部は、明治大学の中では比較的小さい学部ですが、多様な文化的背景を持った学生たちがともに学ぶ多文化共生キャンパスを実現するために、アジアを中心に世界中からの留学生受け入れを積極的に推進しています。現在、国際日本学部在籍する学生の約20%が外国人留学生です。

学部の授業には「海外留学入門」、「異文化間教育学」、「多文化共生論」、「移民政策論」など、国際交流に関連した科目がいくつも置かれ、国際交流の理論と実践について、日本人学生と外国人留学生がともに学ぶことができます。また、「国際日本学実践科目」というユニークな科目が配置され、国際交流をテーマにした講演会やフォーラムなどを学生自身が企画し、運営することもあります。授業外でも留学生対象の就職活動行事の実施や、留学生が日本での大学生活をスムーズに送るための日本人学生サポーター制度など、留学生に対するサポート体制を充実させています。

留学生在籍数



約**250**人

※2025年9月時点
※交換留学生含む

英語で行われている
講義の数



約**100**講義

※年度・学期により異なる

TOPICS

イングリッシュ・トラック (English Track)

イングリッシュ・トラックは、国際日本学部が開講する英語による授業を履修し、4年間で卒業できる英語学位プログラムです。本プログラムは、2011年度に外国人留学生を対象にスタートしましたが、国籍を問わず、より多様な背景をもった皆さんを受け入れられるように改組し、2017年度からは日本国籍をもつ学生もこのプログラムで学んでいます。

世界中から集まったイングリッシュ・トラックの学生は、英語を共通言語として相互理解を深めています。また、日本語学位プログラムの学生も、英語で行われる授業において一定の単位数を修得することが卒業要件となっているため、授業内でプログラムの垣根を越えた交流も積極的に行われています。



学生主体の活動

国際日本学部学生委員会(GJSSC)



学生団体「国際日本学部学生委員会(GJSSC)」を中心に、様々な国際交流イベントや活動を実施しています。正規留学生・交換留学生ともに多く在籍する国際日本学部ならではの雰囲気を楽しむことができます。

【活動例】

- ・留学生サポート
- ・スポーツ大会
- ・総武線街歩きイベント
- ・かき氷イベント
- ・地域の盆踊り大会への参加

GJSSCへの
インタビュー記事は
こちら



STUDENT VOICE

国際日本学部学生委員会(GJSSC)



2年
阿部 萌々花さん
埼玉県私立栄東高等学校卒業

国際日本学部学生委員会(GJSSC)は、国際交流イベントの企画・運営や留学生サポートを中心に活動している学生団体です。約40名が所属し、広報・イベント・サポート・書記会計の4つのセクションに分かれて協力しながら活動しています。多様な文化的背景をもつ学生が集う国際日本学部では、学生同士のつながりを深めることを目指して、ウェルカムパーティーや日本文化体験イベントなど、さまざまな企画を実施しています。常に複数の企画が同時に進む中で、メンバー同士が協力し合いながら新しいアイデアを形にしていく過程は、とても刺激的で充実しています。多様な意見や発想が集

まることで、思いがけない企画が生まれることもあります。互いの個性や強みを活かすことで、より魅力的なイベントへと発展させたりチームで一つのイベントをつくり上げたりする達成感を味わえるのがGJSSCの魅力です。イベント後に参加者から「とても楽しかった」「また参加したい」といった声をいただけることが、次の活動への大きな励みになります。今後もGJSSCは、国際日本学部を中心に中野キャンパス全体を巻き込みながら、学生たちが国籍や学年を越えて交流できる、活気ある場を提供していきます。

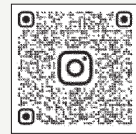
国日放題



国日放題は、「国際日本学部生へのインタビュー動画」を通して、学部の魅力、雰囲気、カリキュラム、国際的なコミュニティ、学外活動についてのリアルな情報を様々な人に発信する学生団体です。国日の授業、キャンパスライフ、課外活動などを通じて生まれた十人十色の「ストーリー」を、学生自身の語りを通してお伝えしています。

【活動例】

- ・国際日本学部の魅力を映像で発信



STUDENT VOICE

国日放題



3年
清水 健太さん
千葉県私立千葉経済大学附属高等学校卒業

国日放題は、映像やSNSといったメディアを通じて、国際日本学部の魅力を広く発信しています。たとえば「長期留学経験者の座談会」や「国際日本学部に入學して良かったこと」など、見る人が新たな発見や気づきを得られるような映像制作を心がけています。

私がこの活動の中で最もやりがいを感じるのは、「人の想いを伝える瞬間」です。撮影の際には、取材相手がリラックスして話せる雰囲気づくりを意識し、質問の仕方や内容を工夫しながら、その人の本音や個性を引き出すよう各メンバーが努めています。撮影後は、編集や投稿の過程を通じて、その想

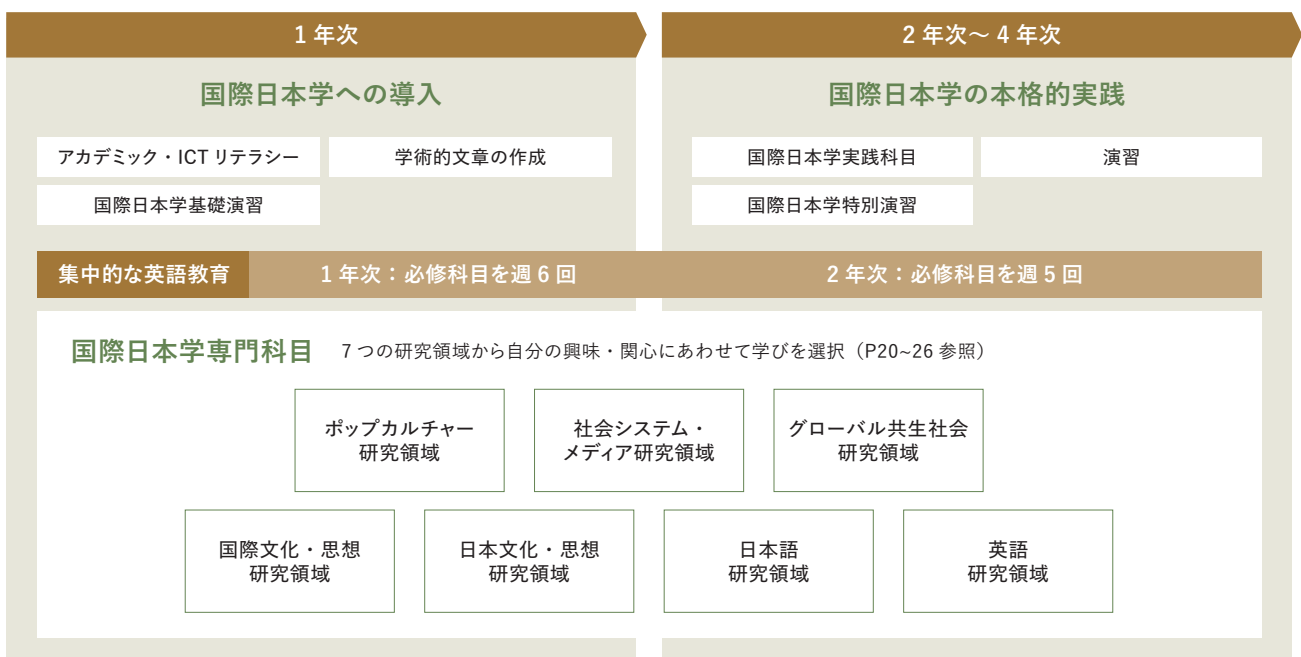
いが真つすぐ届くよう生の声を大切に、視聴者へと届けます。こうした一連の活動を通して、改めて国際日本学部で学ぶ人々の多様さや情熱に触れ、この学部の一員であることを誇りに感じています。

これからも、学生の視点だからこそ伝えられる“リアルな国際日本学部”の姿を発信することで、多くの人の可能性や挑戦する気持ちを刺激し、前向きな一歩を踏み出すきっかけとなるような映像づくりを続けていきます。

自分の言葉で日本の魅力を 世界に発信できる国際人に

グローバル化時代にふさわしい人材を養成するため、集中的な英語教育と国際教養教育に力を注ぐとともに、伝統的な日本文化に加え、今日世界の注目を集めている現代日本文化、そしてその発信基盤である日本語、および企業・産業・社会などの社会システムについて、魅力ある教育を行います。

▶ 4年間の学びの流れ (P15~18参照)



TOPICS アクティブラーニングと少人数教育で、主体的な学びを後押し

学生一人ひとりの主体的な学びを支えるために、アクティブラーニングと少人数教育を積極的に導入しています。グループディスカッションやプレゼンテーション、フィールドワークなど、学生が主体的に考え、発言し、行動する学びの機会を多く設けています。

特に1年次に学ぶ初年次教育科目や英語の必修科目では、クラスの人数が20人～30人程に設定されているため、一人ひとりに発言や発表のチャンスが多く与えられ、実践的なスキルを着実に磨くことができます。授業では「聞くだけ」ではなく、自らの意見を積極的に表現する姿勢が求められるため、コミュニケーションを通じて学びを深めたい学生に適した環境です。



▶ カリキュラム体系図

	1年次	2年次	3年次	4年次	
英語科目	English (Speaking) I・II English (Listening) I・II English (Reading & Writing) I・II	Research Paper Writing Speech & Presentation Advanced Reading & Writing Advanced Speaking & Listening TOEIC Preparation I・II			
	TOEFL Preparation				
		Current English A・B	Discussion & Debate	Integrated English A・B	Literature Reading A・B Practical Drama A・B
第二外国語科目	ドイツ語(初級)A・B フランス語(初級)A・B 中国語(初級)A・B スペイン語(初級)A・B 韓国語(初級)A・B				
		ドイツ語(中級)A～D	フランス語(中級)A～D	中国語(中級)A～D	スペイン語(中級)A～D 韓国語(中級)A～D
日本語科目※	留学生のための学術日本語I・II	留学生のための学術日本語III			
	Introductory Japanese (General / Vocabulary Kanji) 初級日本語(総合/語彙・漢字) 中級入門日本語(総合/語彙・漢字) 中級日本語(総合/語彙・漢字) 中上級日本語(総合/語彙・漢字) 上級入門日本語(総合/語彙・漢字) 上級日本語A・B(聴解・読解・文章表現・口頭表現) 日本語能力試験対策(中級・上級)				
国際日本学 専門科目	ポップカルチャー研究領域 漫画文化論A・B アニメーション文化論A・B 日本先端文化論A・B 現代都市とデザインA・B ジェンダーと表象A・B 特撮の歴史と技術A・B 日本漫画史A・B 日本語研究領域 日本語学A・B 日本語と社会A・B 日本語の文法A・B 日本語の語彙A・B 日本語の音声A・B 日本語の歴史A・B 日本語教育と対照言語学A・B	社会システム・メディア研究領域 日本社会システム論A・B メディア社会学 広告とメディアA・B クリエイタービジネス論 ツーリズム・マネジメントA・B グローバル化と金融サービスA・B ホスピタリティ・マネジメント論A・B テクノロジーと日本社会A・B メディア・アートA・B 組織マネジメントと文化A・B 日本の政治A・B インターネットと社会 サービス産業論A・B コンテンツ産業論A・B 日本のものづくり論A・B 日本技術移転史A・B 知的財産と企業戦略A・B 社会保障論A・B 経済団体研究A・B 都市交通システム論A・B 日本のジャーナリズムA・B 日本人の行動モデルA・B 国際マーケティング論A・B	グローバル共生社会研究領域 国際経済史A・B 平和学 アジア太平洋政治経済論A・B 東アジア地域研究A～D 多文化共生論 異文化間教育学 インクルーシブ・リーダーシップ 海外留学入門A・B 国際教育学A・B 日本とドイツA・B 世界のなかのアフリカA・B 東南アジア地域研究A・B ヨーロッパ政治経済論A・B ファッション文化史A・B モードの神話学A・B ダイバーシティと社会A・B アフリカと近現代世界A・B グローバル開発学入門 共生と学びのデザイン論 国際関係論A・B ロシアとユーラシアA・B インド経済論A・B 移民政策論	国際文化・思想研究領域 映画史概論A・B フランス語圏文化論A・B 東アジア芸術論A・B 宗教と哲学A～D 比較宗教論 比較文化学A～D ラテンアメリカの歴史と文化A・B 映像文化論A～D 東アジア文化交流史A・B イスラム史A・B ヨーロッパ都市文化論A～D 近現代イギリス研究A・B 現代アメリカ論A～D 英語研究領域 言語と文化A・B 心理と言語A・B 応用言語学A・B 英語学A・B	日本文化・思想研究領域 武道文化論A・B 海外日本研究事情 日本表象文化論A・B 近現代日本文学A～D 舞台芸術論A～D 日本の哲学A・B 武道思想史 刀剣文化論 日本の文化伝統A・B 世界から見た日本美術A・B 江戸学A・B 伝統芸能論 歌舞伎・能の美学 日本伝統工芸研究 日本映画文化論A・B 日本の宗教A・B
	総合教育科目	アカデミック・ICTリテラシー 学術的文章の作成 国際日本学基礎演習 国際日本学講座 学術研究・キャリア開発入門 社会学A・B 政治学A・B 経済学A・B 経営学A・B 西洋史A・B 日本史A・B アジア史A・B 地理学A・B 統計学A・B	人類学A・B メディアリテラシー メディア表現論 テキスト分析A・B スポーツ・身体運動文化A～E 国際日本学実践科目A～E 国際日本学部特別講座A・B 社会連携科目A～H 全学共通総合講座 ICT統計解析入門・応用 ICTデータベース入門・応用 ICT画像編集入門・応用 ICT動画編集入門・応用 ICT音楽編集入門・応用	ICTプログラミング入門・応用 ICT Webページ作成 ICT eラーニングデザイン入門・応用 ICTプレゼンテーション 日本国憲法	国際日本学特別演習A・B
演習科目		演習A・B・C・D			
海外留学	留学準備 (TOEFL 受験対策・異文化理解)		海外留学		

※外国人留学生とEnglish Track学生のみ

Q&A

Q 留学は必修ですか？

Answer 必修ではありません。留学しなくても卒業できますが、積極的な参加を推奨しています。また、留学先の協定校で修得した単位は、国際日本学部の単位として認定することもできますので、留学しても4年間で卒業を目指すことができます。

Q 7つの研究領域からどこに所属するのか選ぶ必要がありますか？

Answer いいえ、どの領域から何単位履修するのかは自らの関心にに基づき自由に決めることができます。特定の専門に限定されない学修を通じて、学際的な視点と柔軟な思考力を培います。

Q 演習(ゼミ)は必修ですか？

Answer 必修ではありませんが、3・4年生の約8割の学生が所属しています。少人数で専門的なテーマを掘り下げ、議論や発表を通じて研究的思考と表現力を養います。担当教員の指導のもと、学びを深化させる場となっています。

徹底的な英語教育を中心に 国際日本学の基礎固め

集中的な英語教育【1・2年次／必修科目】

入学初日にTOEFLを実施し、そのスコアに基づいて英語必修のクラスを3レベルに分けて学びます。2年次のクラスも、1年次の終盤に受けるTOEFLのスコアを基に再編成されます。自分と近いレベルの学生とともに学ぶことで、互いに刺激し合いながら英語力を高めることができる環境です。

1年次には週6コマ、2年次には週5コマの英語必修科目を履修し、1クラス20名程度の少人数の環境で、徹底的に「話す・聞く・読む・書く」の4技能を磨きます。授業ではディスカッションやプレゼンテーションなどの実践的な活動も多く取り入れ、英語で自分の考えを的確に伝える力を養成します。2年間の集中的かつ体系的なプログラムを通して、国際社会で自信をもって活躍できる確かな英語運用力を身につけます。

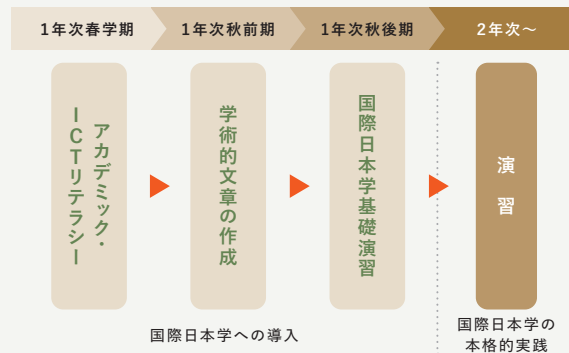
英語必修科目の一覧

1年次	2年次
English (Speaking) I・II English (Listening) I・II English (Reading & Writing) I・II	Research Paper Writing Speech & Presentation Advanced Reading & Writing Advanced Speaking & Listening TOEIC Preparation I・II

初年次教育科目【1年次／必修科目】

国際日本学部では、人文科学・社会科学の幅広い分野から、日本と世界の「いま」を多角的に学ぶことができます。1年次の春学期のはじめには、7つの専門領域を紹介するガイダンスが行われ、国際日本学という学問の全体像をつかむことからスタートします。

その上で、学生一人ひとりが自分の興味に合った専門領域の学びを深め、異なる関心をもつ仲間との議論を通して、思考を磨き、柔軟な発想力を育み、研究に取り組めるように、3つの科目を1年次に履修します。春学期には社会に出てからも必要な「アカデミック・ICTリテラシー」を履修し、秋前期には少人数クラスで「読む・書く」という学術のスキルを実践的に身につける科目として「学術的文章の作成」を履修します。さらに秋後期の「国際日本学基礎演習」では、仲間と議論しながら、自ら課題を見つけ、調べ、考え、発信する力を伸ばしていきます。



第二外国語【1年次～／選択科目】

日本語と英語以外の言語は必修科目ではありませんが、現代の世界の物事が英語だけで理解できるとは限りません。世界中のすべての人にとって、言語は文化の最大の表現であり、信頼の基盤をなすものですので、世界とつながるためには言語を学ぶことが重要です。世界が広がり、もの見え方も変わってきます。大学院に進学したり国際機関で働いたりする場合には、複数の外国語が要件になることが多いので積極的に取り組んでください。国際日本学部では、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、韓国語のクラスを開講しています。さらに、これらの言語の会話クラスなどに加え、イタリア語、アラビア語などの言語も学部間共通外国語科目として履修できます。

科目一覧

- ドイツ語(初級)A・B
- ドイツ語(中級)A～D
- 中国語(初級)A・B
- 中国語(中級)A～D
- 韓国語(初級)A・B
- 韓国語(中級)A～D
- フランス語(初級)A・B
- フランス語(中級)A～D
- スペイン語(初級)A・B
- スペイン語(中級)A～D

STUDENT VOICE

1年生



授業も、友人関係も。
新しい環境を楽しみながら
過ごしています。

大内田 実結さん

埼玉県立和光国際高等学校卒業

Q 授業や学習の取り組み方で、
高校との違いを実感したことは？

Answer パソコンを使う機会が大幅に増えました。授業では多くの人がパソコンを開いてメモを取っていますし、他にもプレゼンテーション用のスライドを作成したり、レポート課題を書いたり、今では筆記用具以上に使っています。私は空きコマを利用してオンデマンド授業（配信された動画を視聴する授業）を受けることもあり、その際も自分のパソコンが欠かせません。

Q 英語のクラスの雰囲気を教えてください。

Answer 履修している必修科目は、いずれもネイティブの先生が授業を担当しています。学生のレベルに合わせた単語やスピードで丁寧に教えてくださり、明るく楽しい雰囲気です。クラスメイトとはペアやグループでディスカッションをする機会も多いので、自然と仲良くなりました。空きコマが重なる時は、みんなでランチを食べたり、ラーニングラウンジで課題に取り組んだり、和気あいあいとコミュニケーションを楽しんでいます。

(事務室から)

1年生は、初年次教育科目が春学期2コマ(秋学期1コマ)の他、英語が週6コマあります。ほぼ毎日英語に触れることで、英語を日常的なものにするとともに、ディスカッションや発表を通して実践的な力を身につけます。

[1年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1		多文化共生論	English (Speaking) I	English (Reading & Writing) I	国際日本学 入門講義	
2		English (Reading & Writing) I	ダイバーシティと 社会A	English (Reading & Writing) II		
3		English (Listening) I	English (Listening) I	日本語教育学 (音声) A	English (Speaking) I	
4	スペイン語IA	日本語教育学 (音声) A	English (Listening) II	English (Listening) II	国際日本学部 特別講座B	English (Speaking) II
5	スペイン語IB	異文化間教育学A (E)	アカデミック・ICTリテラシー 学術的文章の作成 国際日本基礎演習			

●集中科目：日本語教育学(文法)A、グローバル開発入門(E)〔M〕、
日本社会システム論B(E)〔M〕type2、日本語教育学(文法)B

STUDENT VOICE

2年生



言語を学ぶ面白さを実感。
留学を目標に
努力を積み重ねています。

関谷 柊人さん

群馬県私立前橋育英高等学校卒業

Q 第2外国語で選択した韓国語について教えてください。

Answer 国際日本学部の韓国人の友人や留学生と韓国語でコミュニケーションを取りたいと思い、履修しました。相手との関係性や場面によって敬語表現が変化するのが特徴的で、とても興味深いです。発音やリスニングには苦戦しましたが、韓国旅行の際にハングル文字を読めたり、韓国語で注文できたりするまでに成長しました。韓国語で話しかけた現地の方がうれしそうにしている様子を見て、学んで良かったと実感しました。

Q 学年が上がって大変だと感じたことや、
意識して取り組んでいることはありますか？

Answer 2年生になると、1年生で習得したレポートの書き方やプレゼンテーションスキルを活かして、自分の考えをアウトプットする授業が増えました。英語でのプレゼンテーションは今でも難しさを感じますが、少しずつ慣れてきた実感もあります。また、私は海外留学を目指しているので、GPAやTOEFL iBTのスコアを高く保つよう意識。学内選考を見据えて、低学年からしっかりと備えておくことが大切だと思います。

(事務室から)

2年生では、週5コマ英語の必修があります。1年生のときに比べ必修が減るとともに、履修上限も4単位多くなるので、より自由に時間割を組むことができます。

[2年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1					Research Paper Writing Advanced Speaking & Listening	
2	Speech & Presentation Advanced Reading & Writing	Research Paper Writing Advanced Speaking & Listening	フランス文化論A	Speech & Presentation Advanced Reading & Writing		
3	韓国語(初級)A	国際教育交流論A〔M〕		韓国語(初級)A 国際日本学部特別講座B	TOEIC Preparation I TOEIC Preparation II	
4					舞台芸術論A 舞台芸術論B	
5	東アジア地域研究A					

●集中科目：広告とメディアA(E)〔M〕、日本語教育学(文法)A、
メディア社会学〔M〕、世界から見た日本美術A、
総合講座(ASEAN諸国)〔M〕、広告とメディアB(E)〔M〕、
日本語教育学(文法)B、特撮の歴史と技術B〔M〕、
言語人類学〔M〕、世界から見た日本美術B

留学や専門科目を通じて 国際日本学を本格的に実践

必修科目が多かった1・2年次までとは対照的に、3年次以降は必修科目が一切ありません。個人の興味・関心に基づき、自由に履修を組むことができます。国際日本学部は7つの研究領域がありますが、コース選択はなく、一つに絞ってその分野を極めるのも、複数の分野に跨って幅広い視座を獲得するのも学生の自由です。また、3年次以降は演習(ゼミ)も本格化し、論文

を書く学生、地域と協力してプロジェクトを進める学生などそれぞれの演習によって様々な取り組みを行っています。卒業論文は必修科目ではありません。4年次春学期末までに単位を全て取得し、最終学期は海外へワーキングホリデーに行く学生もいます。1・2年次に身につけた英語力と基礎学力を礎に、学生の希望に添ってカスタマイズできる時間割です。

海外留学

海外の大学で修得した単位は、一定の条件のもと明治大学の単位として認定することができます。この制度により、留学期間を含めた4年間での卒業が目指せます。留学から帰ってきた後は、新しい演習に入室したり、今まで入室していた演習に再入室したりすることができ、留学準備だけではなく帰国後の学習もサポートします。留学プログラムの詳細についてはP7をご覧ください。



演習【2・3[※]年次～／選択科目】

演習科目は大学での主体的な学びの中心となる授業です。リサーチやディスカッションを通して得られた研究成果を学内外に発表したり、学外にも開かれたイベントの企画・運営を通して、学問の探究や社会実践方法の習得を目指します。国際日本学部では学生の皆さんのニーズに応じて、1つのテーマを深く探究したり、複数の異なるテーマの演習を組み合わせ受講することもできます。教員やクラスメートとともに、皆さんの興味関心に応じた「独自の国際日本学」を創り上げていきましょう。(*演習の多くは3年次以降の開講ですが、一部の演習は2年次から受講可能です)

担当者	演習テーマ
青山 拓実	応用言語学の視点から学校における英語教育を考える
Vassiliouk, Svetlana	Japan's contemporary foreign relations in the Indo-Pacific Region (the IPR)
鶴戸 聡	英仏語で読む中東メディア
呉 在烜	日本企業の研究
大矢 政徳	言語学入門
小笠原 泰	デジタルテクノロジー革新とグローバル化による世界のGRANDTRANSFORMATIONについて考える
小野 雅琴	広告の理論を学び、実証する
岸 磨貴子	共生とコミュニケーションに関するアートベース・リサーチ
金 ゼンマ	グローバリゼーションとアジア太平洋の政治経済
Quek, Mary	Project based learning in the hospitality and travel industries
小谷 瑛輔	近現代日本のコンテンツ・メディア・物語
小森 和子	第二言語としての日本語の語彙習得
酒井 信	メディア文化論、ジャーナリズム研究、情報社会論
佐藤 郁	観光による地域活性化・地域プロモーション
鈴木 賢志	スウェーデンの社会システムから学ぶ
瀬川 裕司	高度な批評能力を身につける
田中 絵麻	コンテンツ産業論、ICT政策論

担当者	演習テーマ
田中 牧郎	日本語の謎を解く
張 佳能	文化・芸術諸学と一緒に考えなおす
長尾 進	スポーツと社会
萩原 健	ドキュメンタリー演劇の制作 Creation of Documentary Theatre
馬場 小百合	日本の古典文学の精読
ピニロスマツダ, デレク K	国際教育学・異文化間教育学: 移動・実践・批判的思考から学ぶ
平井 達也	多文化ファシリテーションと インクルーシブリーダーシップ
廣森 友人	外国語学習の科学:理論・研究・実践
藤本 由香里	サブカルチャー/ジェンダー/表現/社会
眞嶋 亜有	学際的日本研究 ～ゼミでGlobal Japanese Studiesを極めてみる～
溝辺 泰雄	Twende — 世界を歩き、感じ、かたちにするゼミ
美濃部 仁	哲学
宮本 大人	メディアと大衆文化/サブカルチャー
森川 嘉一郎	マンガ・アニメ・ゲーム/デザイン/都市
山脇 啓造	多文化共生のまちづくり
Ward, Ryan M.	「死」の日本宗教史

STUDENT VOICE

3年生



海外への留学が
教えてくれたのは、
日本文化の魅力でした。

新納 彩夏さん

東京都立小山台高等学校卒業

Q 3年次での専門的な学びで、印象に残っていることは？

Answer 自分が学びたいと考えていた科目の中でも、特に印象的だったのは「歌舞伎・能の美学」。今まで触れたことのない世界でしたが、授業内でビデオを用いて、学びの視点から作品を鑑賞できたことは、良い経験になりました。また、この授業で得た知見は日本表象文化論の授業にも活用でき、さらに理解を深められたと感じます。演習では日本古典文学について研究していますが、調べるほどに学びの喜びを実感でき、受講して良かったと心から思います。

Q 留学の経験は、どのような学びにつながっていますか？

Answer 留学を通じて気づいたのは、日本文化が、いかに唯一無二であるかということでした。その一方で、自分が母国の政治や歴史、文化について無知であったかということも痛感。大学へ戻ったら、日本について学びたいと思うきっかけになりました。そのため、帰国後は日本の伝統文化や社会保障について学ぶ科目を履修。海外のことも日本のことも学べる授業やシステムのおかげで、それぞれバランスよく知識を身につけられています。

(事務室から)

留学先の協定校で修得した単位は、一定の条件のもと明治大学の卒業要件単位に入れることができます。新納さんは2年生の秋から1年間スウェーデンのセーデルトーン大学に留学し、44単位分が明治大学の単位として認定されました。

[3年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1						
2		日本の文化伝統B		社会保障論A	歌舞伎・能の美学	
3				演習		
4			日本表象文化論B(E)			
5						

●集中科目：言語と文化B(M)、日本のものづくり論B(M)、世界から見た日本美術B

STUDENT VOICE

4年生



就職活動や留学など、
4年間すべての経験が
成長の糧になりました。

成清 大輝さん

東京都立八王子東高等学校卒業

Q 就職活動と授業を両立する経験から、得られたことはありますか？

Answer スケジュール管理やメンタルケアの意識を高めることができました。就職活動が本格化すると、選考試験対策やインターンシップなどの予定が入り、スケジュールの調整が大変になります。リマインダーを活用するなど、ツールを使って乗り切れることを覚えました。また、メンタルに負担がかかりすぎないよう、大学に通う日と就職活動の日を分けて気持ちを切り替えたり、友達に相談したりといった工夫を心掛けたことも、良い経験になったと思います。

Q 留学を通じて、どのような成長ができたと思いますか？

Answer 半年間の留学を通じて、周りの人々への寛容な心を育むことができました。世界中の多様な人々との関わりの中で、精神的にも大きく成長できました。留学中は、海外の方に助けていただいた機会も多く、日本で困っている外国の方がいたら、率先して助けたいと思うようになりました。留学だけでなく、この4年間で多様な価値観に触れ、物事を広い視点で捉えられるようになったことが、一番の成長だと感じています。

(事務室から)

成清さんは、2年生の秋学期に留学。20単位分が明治大学の単位として認定されました。留学をしても4年間で卒業は可能であると同時に、計画的な履修をしていれば、4年生になってから余裕をもった履修を組むことも可能です。

[4年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	比較宗教論					
2	経済学A					
3						
4	演習					
	演習					
5						

●集中科目：広告とメディアA(E)(M)、日本語教育学(文法)A、ビジネスと法A(M)、世界から見た日本美術A

国際日本学部ならではの多様な科目

国際日本学専門科目

日本の産業・社会・文化の特質を深く知り、世界の文化・思想と国際関係を幅広く学ぶことを目的に7つの研究領域に科目を区分して構成します。これらの研究領域は国際日本学を学ぶ上で有機的に関連しておりお互いに切り離すことができません。どの研究領域の科目から何を履修するかは、各自の興味と研究テーマに則して自由に選択することができます。▶詳細はP20-26

総合教育科目

社会連携科目

この科目は行政や企業等と連携し、現代社会が抱える諸問題について取り上げます。学生の主体的な学びを推進することを目的とし、グループワークやフィールドワークも活発に行われます。社会の第一線で活躍する企業等から招いた講師によって、実践的な指導を受けることができます。

例 (年度によって異なります)

- 中野区の都市観光
- 日本のホスピタリティ・マネジメント
- エンタテインメント実践講座

国際日本学実践科目

この科目では、国際交流を推進するための行事の企画実施や、国際日本学に関する調査研究、日本文化や社会に関するフィールドワークなどに取り組みます。

例 (年度によって異なります)

- 「茶道」の歴史や思想を学び、茶会を体験する
- 浅草や鎌倉をまわりながら宗教と生活のかかわりについて学ぶ
- スピーチコンテストや国際交流フォーラムを企画・実施する

日本語科目(留学生向け)

日本の文化や社会について深く理解し、その知見や情報を発信していくためには、十分な日本語能力が不可欠です。国際日本学部では、日本語を母語としない学生を対象に、入門レベルから上級レベルまで一貫したカリキュラムで独自の日本語教育プログラムを提供し、大学での学びや研究に必要な日本語能力を養成していきます。



TOPICS 留学生のための学術日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

大学では、講義を聞いて内容を理解し、文献を読んでレポートを書いたり、調査・発表を行ったりする学習活動が行われます。そのため、入学前に身につけた基礎的な日本語に加えて、学習・研究に必要な日本語力が求められます。「留学生のための学術日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」では、大学4年間の学びに必要な学術的日本語能力とアカデミック・スキルを養成します。

「Ⅰ」では「書く」を中心に、レポートや論文の言語表現を学び、執筆を通して論理的で明瞭な文章を書く力を養います。

「Ⅱ」では「読む」を中心に、文献やレポートなどを正確に理解し、情報を収集・整理する力を育てます。

「Ⅲ」では課題解決型のプロジェクト・ワークに取り組み、情報収集・調査・発表などを通して総合的な日本語運用能力を高めます。

STUDENT VOICE

国際日本学実践科目C(海外実習・シンガポール)



3年

佐藤 啓青さん

神奈川県立湘南高等学校卒業

この科目は、シンガポールが高い国際競争力を持つ背景を、現地でのフィールドワークや企業訪問を通して多角的に考察する授業です。私は北欧への留学経験があり、異なる文化圏との比較視点を持って学びを深めたいと考え履修しました。

印象に残っているのは、シンガポールへの現地調査で、5人の学生と教授とで濃密な7日間を過ごしたことです。積水化学工業との産学連携による実習や現地学生との交流を通じて、政治・経済・地理など様々な側面から「国」を見ることで、物事を多角的に捉える重要性を学びました。特に、シンガ

ポールの方は自国の資源不足に対する危機意識が高く、雨水や海水、再生可能エネルギーの活用し、あらゆる工夫と技術で社会課題を乗り越えようとしていることが分かり、シンガポールの成長の原動力に触れられたように感じました。このように現地で生の情報を集め、帰国後にはチームで議論を重ね、最終的には積水化学工業の役員の方々の前で成果発表を行い、満足のいくプレゼンテーションができました。

ポップカルチャー研究領域

○ 〈ハクール・ジャパン〉を科学する

領域の概要

マンガ、アニメ、ゲーム、特撮など日本の先端文化が世界から注目を集めています。それら作品の主題や表現とそのメディアや産業とのかかわり、制作を支える技術や流通の形態、国内外における受容のあり方やファン文化、歴史の変遷やその時々の社会的影響などを多角的に分析します。その追求を通じて、現代日本文化と世界とのかかわりを考えます。

〈科目例〉

- 漫画文化論A・B
- アニメーション文化論A・B
- 日本先端文化論A・B
- 現代都市とデザインA・B 等



明治大学米沢嘉博記念図書館(マンガ図書館)の書庫

Student Voice

学生の声

4年
三井 一生さん
福岡県立小倉高等学校卒業



「好き」を学問へ昇華し、
世界を熱狂させるコンテンツを

漫画やアニメを専門的に学べる環境に惹かれ、本学部を選びました。授業では、自分が愛好する作品を題材にレポートを作成するなど、主観的な「好き」を客観的に捉えて学問的に深めています。特に印象深い「漫画文化論」では、歴史や表現技法に加え、「キャラクターの体や視線の向き」が持つ意味など、作品を理論的に読み解く視点を養いました。先生の丁寧な指導に加え、ゲスト講義を通じて制作現場のリアルな知見に触れたことも大きな財産です。また、広告や政治、言語など幅広いジャンルを横断して学べる点も本学部の魅力です。将来は、ここで得た多角的な視点や、日本文化と海外との関わりについての学びを活かし、世界中の人々を夢中にさせるコンテンツを届ける仕事に就きたいです。

Message

教員からのメッセージ

森川 嘉一郎 准教授



マンガ・アニメ・ゲーム・特撮がいかにか
〈日本の顔〉となっているか、
その力を見据える

ゲームやアニメを中心とする日本のコンテンツ産業の輸出額は、今や、半導体産業や鉄鋼産業を超えるようになってきました。これを受け、政府は2024年からこの分野を新たな「基幹産業」に位置付け、2030年代には自動車産業と並ぶ規模へと押し上げようとしています。その上で現在、圧倒的な不足が指摘され、強く求められているのが、この分野の海外展開を担えるグローバルビジネス人材です。

明治大学の国際日本学部は、多くの大学が設ける国際系学部の中でも、この分野の教育研究環境において突出しています。本学が擁する、40万冊を超える日本最大級のマンガ図書館は、社会連携の拠点でもあり、学生や卒業生の活躍をサポートしています。

○ 最先端の日本の社会・産業の特質を知り、知見を深める

領域の概要

現代日本社会の基盤となっている社会・経済システム、産業組織、企業経営、メディアなどで起こっている最先端の様相を理解し、急速なデジタル・テクノロジー革新やグローバル化、民主主義の変容など変化の激しい環境のなかで、その特質と優位性についての知見を深め、新たな方向性を探ります。同時に、その特質と優位性を世界に向けて発信し、ビジネス・モデルやプラットフォームとして定着させていくためには、どのような方法やアプローチが可能であるのかを探索していきます。

〈科目例〉

- 日本社会システム論A・B
- 組織マネジメントと文化A・B
- 日本的ものづくり論A・B
- 広告とメディアA・B
- ツーリズム・マネジメントA・B 等



Student Voice

学生の声

3年

竹鼻 天音さん

東京都私立共立女子高等学校卒業



比較の視点から「日本」を再発見し、
社会の本質を読み解く

この領域では、国際的な視座から日本の社会や経済の仕組みを見つめ直すことができます。特に大きな学びとなったのは「日本社会システム論」の授業です。社会保障や雇用に関することなど、当たり前だと思っていた日本の社会システムを他国との比較を通じて相対的に捉える面白さを学びました。この授業をきっかけに北欧社会に関心をいただいたことで、留学にも挑戦しました。異文化での実践的な学びを通して、文化や社会習慣、コミュニティの在り方など、日本という国を多角的に考察する力が養われましたと感じています。日本の魅力を海外に発信する仕事に携わることを目標に、ゼミ活動ではマーケティング分野の学びを深めています。

Message

教員からのメッセージ

小野 雅琴准教授



社会経済の構造を読み解き、
新たな価値を創出する学び

社会システム・メディア研究領域では、現代日本の社会システム、産業組織、企業経営、メディアなどの基礎ならびに最前線に焦点を合わせ、その構造的特徴や変容のメカニズムを深く探究します。国内外を比較しながら、現代日本の特性を多角的に捉え、持続可能な社会・経済のあり方を考察します。学生一人ひとりが、理論と現実を結びつけ、鋭い視点で社会・経済を読み解く力、そして柔軟に課題を発見・解決する思考力を培うことを重視しています。

こうした学びを通じて、この激動の時代において、既存の枠を越え、社会・経済の構造に新たな価値を創出できる、知的で実践的な人材として大きく成長することを期待しています。

グローバル共生社会研究領域

GLOBAL AND INTER/TRANSCULTURAL STUDIES

○ 国際社会および国際関係を学ぶ

領域の概要

グローバル化が進む現代社会では、世界の多様性を理解し、物事を多角的に捉える視点と、学びを行動につなげる力が求められています。グローバル共生社会研究領域では、国際関係、多文化共生、異文化間教育、世界各地の歴史・社会・文化・現代的課題等について学びます。同時に「知る」ことを出発点として、実際に異なる背景を持つ人々が出会い、そこから新しい価値を生み出す方法についても学んでいきます。理論だけでなく、実践的に学べる授業も多く、知識を深めるだけでなく、自ら考え行動する力を育みます。多様性をつなげ、未来を共に創っていく一歩をここから踏み出しましょう。

〈科目例〉

- 国際経済史A・B
- 平和学
- アジア太平洋政治経済論A・B
- 東アジア地域研究A～D
- 多文化共生論 等



Student Voice

学生の声

3年

鈴木 陽南乃さん

愛知県私立光ヶ丘女子高等学校卒業



対話と実践を通じて取り組む、
誰もが安心して暮らせる
「多文化共生」の街づくり

留学中に言葉が通じず困っていた私を、現地の方が親身になって助けてくれた経験から、日本でも誰もが安心して暮らせる社会を作りたいと考えています。「多文化共生論」の授業では、自分の考えを言語化するディスカッションや、外部講師による講義を通じて、多文化共生の本質を深く学びました。対話を重ねることで、視野も大きく広がったと感じています。現在はゼミ活動の一環で、「多文化共生のまちづくり」をテーマに自治体や企業に向けたワークショップを企画・運営しています。将来は、互いを理解し合い、思いやりに溢れた「誰もが住みやすい街」の実現に寄与したいです。

Message

教員からのメッセージ

溝辺 泰雄教授



世界を知り、
共に生きる未来を創る

グローバル共生社会と聞いて、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。世界の平和、異文化理解、国際協力—そのどれもが、この領域の学びとつながっています。私はこれまでアフリカ諸国を中心に、欧米、アジア、オセアニア、そしてカリブ海地域のさまざまな土地を一人で調査研究の旅をしてきました。その経験を通して感じたのは、「違い」を超えるのではなく、「違い」を認め、受け入れつつも、自分という「個」を強く持つことの大切さです。グローバル共生社会研究領域では、国際関係や多文化共生、地域研究などを通じて、多様な価値観と向き合いながら、自分の考えを深め、行動へとつなげていく力を育てます。世界を知り、共に生きる未来を描いていきましょう。

国際文化・思想研究領域

○ 世界の文化・思想を深く学ぶ

領域の概要

世界の各地域の政治・経済・歴史、世界の文学、芸術、宗教、思想、文化などについて一流の教授陣のもとで古典から現代の最新状況にいたるまで、幅広く修得します。

〈科目例〉

- 映画史概論A・B
- フランス語圏文化論A・B
- 東アジア芸術論A・B
- 宗教と哲学A～D
- 比較宗教論 等



Student Voice

学生の声

3年

佐藤 然さん

東京都
私立東京農業大学第一高等学校卒業



世界を捉える新たな「切り口」を得て、
日常の景色を一変させる

この領域には、高校までの国内中心の視点とは異なる切り口から、日本を含む世界全体を捉え直すことができる学びが多くあります。好奇心から受講した講義が既存の知識と結びつく瞬間は、広範な分野を横断して学び、体系的な思考を養う本学部ならではの醍醐味だと実感しています。「宗教と哲学」では、他者理解の本質はその人の人生のバックボーンを知ることであると学びました。人間の長い歴史や、世界の多様な切り取り方に触れ、日常の見え方が鮮やかに変わるような知的興奮を覚えています。将来は、媒体にとらわれない表現で、ここで得た視点を形にし、誰かの世界の見え方が一変するような作品を世に送り出したいです。

Message

教員からのメッセージ

張 佳能 専任講師



「個」の精神を磨く人文学

現代の大学はさまざまな知識を学ぶ場ですが、生涯にわたってどのような人間でありたいかを究めていく「学び」が文化・思想をはじめとする人文諸学です。

「国際」に軸を置く本領域では、世界のさまざまな文化・思想の歴史を深掘りしていきます。わたしの「比較文化学」では「他者」への理解を中心に、頭の中の「当たり前」に疑問を持たせ、思考の柔軟性を身につけていくことを重視しています。他者を認識することはすなわち己を知ることであり、これは「個」を重視する本学の精神にも通じています。

地球規模で文化の交流と衝突が絶えない中、知性ある市民として生きていく上で何が必要か、多彩な科目と一緒に考えてみませんか。

日本文化・思想研究領域

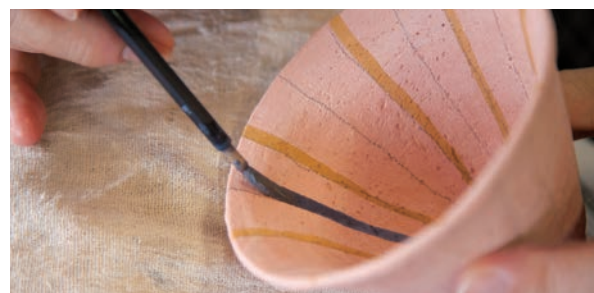
○ 日本文化・思想の源を学ぶ

領域の概要

外国に行くと、必ず日本の社会や文化についてたずねられます。今後、グローバル化がさらに進展する時代の中で活躍するためには、外国の文化を受信するだけでなく、日本の文化を発信する能力が不可欠です。その能力を獲得するためには、日本の文化や思想を客観的に見る視点を養い、日本の文化や思想に関する幅広い知識を身につけ、その本質を見極めようとする努力が必要です。思想・哲学から伝統文化までその本質に触れながら日本の心を学びます。

〈科目例〉

- 武道文化論A・B
- 日本の文化伝統A・B
- 日本表象文化論A・B
- 近現代日本文学A～D
- 舞台芸術論A～D 等



Student Voice

学生の声

3年
黒澤 洸さん
千葉県立千葉東高等学校卒業



「外」からの視点で日本文化を捉え直し、地域の魅力を世界へ発信

留学生からの日本文化についての質問にうまく答えられなかったことから、日本文化に対する海外の視点と日本人の感覚に違いがあると気づきました。「近現代日本文学」は、『羅生門』などの作品が海外でどのように受容されているかを学ぶ授業。歴史的・文化的背景の違いによって作品へのイメージが日本と海外で異なるという事実は大変興味深く、日本文化を相対化する新たな視点を与えてくれました。将来は地方公務員として、「日本文化を多角的に捉える視点」や「価値観の違いへの理解」を活かし、インバウンド需要が高まる地域の文化や歴史を国内外に発信することで、地域活性化に貢献したいです。

Message

教員からのメッセージ

馬場 小百合准教授



開かれた視座から「日本」に向き合う

「国際日本学部」において「日本文化・思想」を研究することの意味は何でしょうか。たとえば私の専門である日本の古典文学などは、あまり「国際」という言葉とはなじまないように見えるかもしれません。しかし、ひらがな一つとっても外国の文字である漢字を基にして生まれたものですし、漢詩文の教養は多くの日本の古典文学に影響を与え、その発展を支えてきました。日本の文化や思想は、日本というただ一つの国だけを見つめては捉えられません。それは、古代も現代も同じはずです。

大きな事象を見渡す開かれた視座と、細部に向き合う誠実さを持ちながら、日本の文化・思想の多層的なありようを丁寧に読み解いていきましょう。

日本語研究領域

○ グローバル化の時代だからこそ、日本語を客観的に見つめ、学ぶ

領域の概要

日本語には、世界の諸言語と比較すると、ユニークな点がたくさんあります。日本語を体系的に学び、さまざまな視点から日本語を観察・分析することをとおして、日本語の面白さや難しさを再発見し、日本語に関する高度な教養と専門知識を身につけていきます。日本語を音声、文法、語彙の分野別に解説し、日本語の特徴や日本語を取り巻く諸問題を研究する、「日本語の音声」「日本語の文法」「日本語の語彙」のほか、日本語と社会との関わりを考えコーパスによる研究法を学ぶ、「日本語学」などの科目が設置されています。

〈科目例〉

- 日本語学A・B
- 日本語と社会A・B
- 日本語の文法A・B
- 日本語の語彙A・B 等



Student Voice

学生の声

3年
山本 梨緒さん
東京都私立女子学院高等学校卒業



母語の「不思議」を再発見し、言葉の壁を越える力を磨く

母語である日本語を客観的な視点から捉えることに面白さを感じました。

日本語を外国人に教える立場から考える授業では、学習者がつまづきやすい表現を取り上げ、日本語の特徴や微妙なニュアンスを改めて考えます。

外国人が迷いやすい点は、日本語を母語とする私たちにとっても高度な理解を求められるものが多く、そこから日本語の本質を探究する中で、この領域の魅力に引き寄せられました。

こうした学びを通して、日常で感じる小さな疑問に対してその背景などを多角的な視点から探求する姿勢が養われました。

特にいまは「ことば」に関心があるので、英語や中国語、韓国語の学びも深めていき、多言語交流に積極的に関わっていきたいです。

Message

教員からのメッセージ

田中 牧郎教授



国際日本学部で日本語を研究するとなぜ面白いのか

日本語の研究を専門的に行う学部は、文学部や外国語学部であることが一般的ですが、国際日本学部の日本語研究には、それらの学部とはちょっと違う魅力があります。それは、世界の中の日本語、文化や社会の中の日本語という見方で研究することです。日本の長い歴史を通して、外国からたくさんの方々の物を受け入れて多様性を内包することになった、文化や社会の中の日本語を丁寧に観察していくと、地層のように幾重にも積み重なった姿が発見でき、とても面白いのです。また、日常的に日本人と留学生と一緒に研究活動を行うので、同じ日本語でも、母語として見るときと外国語として見るときと見え方が違うことに気づくのも、本当に刺激的です。

英語研究領域

ENGLISH LANGUAGE STUDIES

○ グローバル社会を生き抜く英語力を獲得する

領域の概要

いまやグローバル社会を生き抜く上で必須の道具となっている「英語」。そもそも私たちは音と文字を使ってどのようにコミュニケーションを行っているのか(英語学)、第二言語習得のメカニズムについて、これまでどのようなことが分かっているのか(応用言語学)、日本語と英語はどのように異なり、その違いがどのように私たちの思考や行動に影響を与えているのか(言語と文化)、英語学習のプロセスにモチベーション(やる気)や学習方法はどのような影響を与えているのか(心理言語学)、英語にまつわる様々な課題について幅広く学んでいきます。

〈科目例〉

- 言語と文化A・B
- 心理と言語A・B
- 応用言語学A・B
- 英語学A・B



Student Voice

学生の声

3年

山代 小蘭さん

東京都立新宿高等学校卒業



Message

教員からのメッセージ

廣森 友人教授



心理学の視点で「言語習得」を
解き明かし、世界と繋がる武器にする

この領域では、英語そのものだけでなく、洋画や外国文学を通してその背景にある文化や言語習得のプロセスなどを深く学ぶことができます。「心理と言語」の授業では、第二言語習得研究の知見から、日本人が英語を苦手とする要因や、モチベーションを高める効果的な学習法を科学的に学びました。動画やゲームを取り入れた実践的な授業や、他者との活発なディスカッションを通じて、独学では得られない客観的な視点を養い、自身の語学学習法を改善する大きなきっかけになりました。将来は、ここで培った語学力と自分なりに確立した習得メソッドを活かし、グローバル企業で活躍したいと考えています。

AI時代に外国語(英語)を
学ぶ意義とは?

AIがどれほど進化しても、「心を通わせる力」は人間だけが持つものです。英語を学ぶことは、単に情報を得たりスキルを身につけたりすることではなく、異なる文化や価値観に触れ、自分の思考や心理を深く見つめ直す営みでもあります。英語で考え、伝える経験を重ねるなかで、思考力や共感性、そして他者と協働して学ぶ力が育まれます。AI時代を生きる私たちにとって、英語は「情報のツール」ではなく、「人とつながるための架け橋」。ことばを学ぶことは、他者を理解し、自分をより深く知るきっかけを与えてくれます。英語を学ぶことによって、あなたの未来は、きっとより豊かで、より充実したものになるはずです。



座談会

国際日本学部

— 多様な国際交流を通じ、豊かな素養

“英語力を伸ばしたい” “日本文化への興味から” —国際日本学部を志望したそれぞれの理由は?

大島和也さん(以下、大島):大学では英語力を伸ばしたいと思っていましたので、英語で授業を受けることができるところへの進学を希望していました。

平木千尋さん(以下、平木):私も、英語や海外への興味があったことが進学理由の一つです。加えて、海外だけでなく日本についても深く学べることも魅力に感じました。

南川あずささん(以下、南川):私の場合は充実した留学制度が一番の決め手です。大学では長期留学に挑戦したいと思っていたからです。第一志望でした!

SHIN DONGCHANさん(以下、シン):私は日本のアニメや観光地など「日本文化」に興味を持ったことがきっかけです。はじめは韓国の大学に進学しましたが、1年で退学して、この国際日本学部に入り直しました。



私は学部独自のプログラムでシンガポールへ留学!

留学希望の学生が多いのも心強い!

入学当初は周囲の英語力の高さや 国際日本学部ならではの学びのスタイルに戸惑いも…

南川:入学当初は、他の学生の英語力の高さに焦りを感じました…。積極的に様々なことにチャレンジしている友人も多かったのですが、自分は何に興味があるのか、どんなことに力を入れていきたいのか…。考えてしまう時間が多かったですね。

大島:自分も同じように、入学当初は授業についていくために十分な英語力が身につけていなかったため、英語で書かれた教材に向き合うのも、日々、格闘していた記憶があります。

平木:英語だけで行われる授業は、授業内容を理解することもそうですが、参考文献を探すのにも苦労しました。専門的で初めて見る英単語もたくさんありましたが、調べる時間も日本語と比べると倍以上かかった気がします。

ただ、すべてが英語で行われる授業ばかりではなくて、授業資料だけ英語で講義は日本語で行われる授業もあるので、そこは個人のレベルに合わせて選択できるのも国際日本学部ならではの良さだと思います。

シン:私は英語力とはちょっと違うのですが、ディスカッションや発表を中心に行う授業が最初はとても大変でした。国日は少人数でアクティブに行われる授業も多いじゃないですか。

でもこれがかえって良かったのかもしれない。そういった教育プログラムがあったからこそ、そうせざるを得ない環境に身を置くことで自然と鍛えられた気がします。実際に、2年生のときに履修した英語のスピーキングの授業でいい成績がとれたときには自信になりましたね。



人見知りだから最初は苦労しました…。

—国際日本学部らしさを感じる 印象的な授業は?

平木:私の場合はアフリカ地域の社会・政治・経済について学ぶ「世界のなかのアフリカ」ですね。大学でしか学べないことを学びたいなと思っていたときに、珍しい授業だと思って。

シン:私もその授業とりました!「アフリカと近現代世界」という別の関連科目も受けたことがあります。普段あまり触れることのないテーマでしたが、自分の視野を広げる貴重な経験となりました。

大島:大学での授業は馴染みの薄いテーマを扱うことも多いですね。そういう意味では、「アジア太平洋政治経済論」が印象に残っています。入学して初め

での学びとは?

右から
3年 大島 和也さん 神奈川県立海老名高等学校卒業
4年 平木 千尋さん 福岡県立明善高等学校卒業
4年 南川 あずささん 愛知県私立清林館高等学校卒業
3年 SHIN DONGCHANさん 韓国 私立文山守億高等学校卒業

を持ったグローバルな人材を育成

アフリカの授業は
特に人気!



国日の学生の半分は
履修しているイメージ!

この学期にこの授業を履修したのですが、「“エスニッククレンジング(民族浄化)”についてどう思うか」というテーマでの議論に大苦戦。自分の意見をまとめることすらままなりませんでした…。自分が希望する英語だけで行われる授業でもありましたが、英語でディスカッションすること以前の課題が見つかり、とてもいい勉強になりました。

南川:日本語でも大変なのに英語でのディスカッションは特に苦労しますよね。ただ、その分、着実に力がつくと思います。私はノルウェーへの留学を経験しましたが、国際日本学部での学びが現地の授業でも役立ちました。異文化の中でも、自分の意見を明確に発信できましたし、相手の考えを尊重しながら物事を進める力もさらに磨かれたと感じています。自分の視野が大きく広がった経験でした。

十分な知識がなくても、ディスカッションに食らいつく。
この経験が糧にもなりました。



それぞれが考える“国際日本学”とは。
自分だけのオリジナルの学びを4年間で実現。

シン:国際日本学部は、言語・文化・社会・国際関係など、多方面から世界と日本を学ぶことができる非常に魅力的な学部です。英語や日本語に自信がなくても、挑戦し続ける意欲があれば必ず成長できます。授業を通して、自分の考えを発信し、異なる文化や価値観を理解する力を身につけることができます。自分の可能性を広げたい人にとって、この学部は最高の環境だと思います!

平木:学べる分野が広い分、自分が本当に深めたい分野を見つけるのが難しいかもしれません。私自身、入学前は「海外に興味がある」という漠然とした気持ちしかありませんでしたが、国日での学びを通して自分が本当に興味を持てることを見つけることができました。まだやりたいことがはっきり決まっていない人にこそ、国際日本学部はぴったりだと思います。

大島:同感です!自分が大学で何を学びたいのか、まだよく分からない人こそ国際日本学部をお勧めしたいです!学びながら「自分の興味」を見つけることができます。国際日本学部の学びは将来どの分野に進むにしても役立つものだと思います。社会の変化が速い今だからこそ、その社会に必要な柔軟な思考力と多角的な視点を養える学部です。

南川:学びの方向を一つに限定せず、自由に挑戦できる環境が整っているのが国際日本学部のいいところですね。留学制度も充実しているため、国際的な分野に関心がある人や、海外での学びを経験したい人にもぴったりの学部だと思います。自分の可能性を広げたいと思う方は、ぜひ国際日本学部!



キャリア形成

明治大学では、「就職キャリア支援センター」において、学生の皆さんに能力や特性を生かすことのできる進路や職業を選択してもらうための支援業務を行っています。具体的には、個人・グループでの就職・進路相談、就職筆記試験や面接対策講座、インターンシップ関連支援、各種セミナーなどを

行っています。また、国際日本学部でも、学部独自のキャリア支援として、留学生やイングリッシュ・トラック学生を対象としたイベントを開催するなど、学生のキャリア形成を積極的にサポートしています。

中野キャンパスでの主な支援行事

1~2年次	4~5月	キャリアデザインガイダンス、Meiji Job Trial オリエンテーション
	10月	キャリアデザイン講座
3年次	4月	進路・就職ガイダンス
	6~7月	企業人による集団模擬面接会
	7月	グループディスカッション実践会
	9月	就職ガイダンス
	9~10月	業界・企業研究基礎講座
	10月	自己分析講座、エントリーシート対策講座、コンピテンシー診断講座、面接対策講座、グループディスカッション基礎講座
	10~11月	内定者座談会、企業理解促進セミナー
	11~12月	企業（職場）見学会
	11~1月	企業人事による集団模擬面接会、企業人事によるグループディスカッション実践会
		12月
	1月	～本番直前～就活総まとめ講座
4年次	7月	学内合同企業セミナー
	6~8月	学内企業選考会
	11月	学内企業選考会

就職キャリア支援室



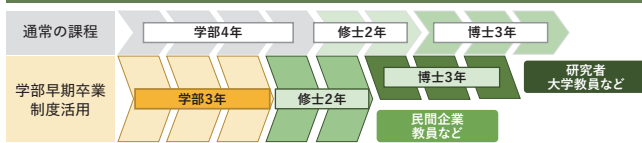
1年次から随時進路相談を行うなど、数多くのキャリア支援行事を開催。「入口から出口まで」の一貫した支援体制を構築し、学生一人ひとりの「個」に合わせたキャリアデザインをサポートします。

※スケジュール・行事は変更となる場合があります。

大学院国際日本学研究科

国際日本学の専門性をさらに深め、グローバル社会で活躍する力を養うための学びがここにあります。本研究科では、多様な研究領域を横断しながら高度な知識と実践力を身につけ、次代を切り開く国際人材を育成します。

学部早期卒業制度を活用し、最短5年で修士学位取得を目指す。



Q 大学院生も就職活動はサポートしてもらえますか？

Answer 大学院生に特化したキャリアサポートプログラムが実施されています。特に民間企業への就職に当たっては、学部の学生と同様に様々なサポートを行っています。また、研究科独自のイベントで修了生と交流できる機会があるなど、きめ細やかなバックアップをしています。

Q 経済支援や研究に対する助成はありますか？

Answer 豊富な明治大学大学院独自の奨学金制度や、充実した研究助成プログラムを通じて、大学院生が研究活動に存分に打ち込むことができるようサポートしています。

CHECK!

大学院の魅力をまとめたサイト
「新たなる知の創造」
<https://meiji-graduate.jp/support/>



STUDENT VOICE



芹澤 凜香さん 国際日本学専攻 博士後期課程 2年
指導教員：小谷 瑛輔 教授

学部早期卒業制度と
大学院の経済支援を活用し、
経済的負担を軽減！
さらなる研究へ!!

明治大学の国際日本学部には、既定の条件を満たせば通常よりも1年早く卒業ができる早期卒業制度があります。私はこの制度を活用し、学部3年+博士前期課程2年の合計5年で修士の学位を取得しました。経済的な負担を軽減しながら短期間で学位を取得できるこの制度は、大学院進学への大きな後押しとなりました。

国際日本学研究科の魅力は、なんとと言ってもその学際的な環境と、学生間の交流の活発さにあると思います。多様な研究領域を併せ持つ国日研では、ゼミの先輩後輩という縦のつながりだけでなく、必修科目の履修や、年に数回行われる研究報告会を通して、自分とは全く異なる分野を専攻している学生と関わる機会も多くあります。

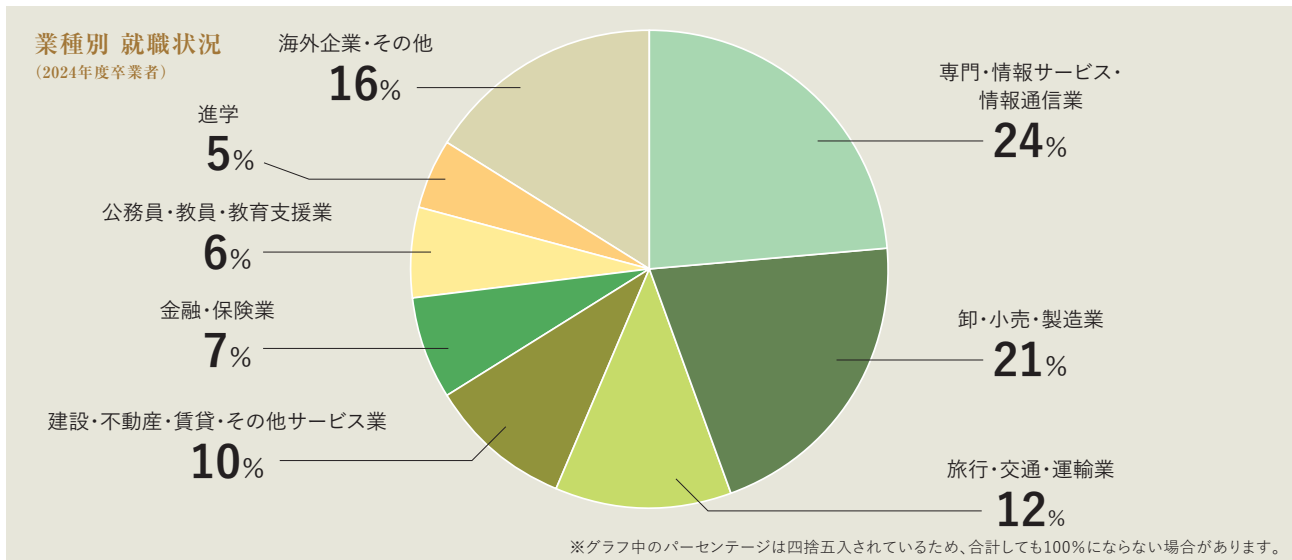
自分の専門性を高めながら、同時に他分野についての知見も広めることのできる国日研の環境は、修士学位の取得を目指す学生にとってはもちろんのこと、研究者を志し、博士後期課程への進学を検討している人にとっても大変恵まれたものだと感じます。

皆さんと研究ができる日を、国日研でお待ちしています。

就職実績

国際日本学部は、日本の文化や社会に対する深い理解と国際的な感覚をもち、21世紀のグローバル社会で活躍できる優れた人材を育成することを目指しています。また、国際化する企業ではグローバルマインドをもつ人材

がますます求められており、国際日本学部への関心も高まっています。下記の業種別就職状況から分かるとおり、国際日本学部で培った能力を発揮できる将来の活躍の場は、多岐にわたります。



主な就職先企業・団体名

※主な就職先の抜粋です。 ※順不同

専門・情報サービス・情報通信業

- キリンホールディングス(株)
- デロイトトーマツコンサルティング(同)
- (株)電通
- (株)日本総合研究所
- (独)日本貿易振興機構
- (株)博報堂プロダクツ
- 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
- (株)NTTドコモ
- 日本アイ・ピー・エム(株)
- 楽天グループ(株)

卸・小売・製造業

- アマゾンジャパン(同)
- 三和商事(株)
- P&Gジャパン(同)
- 丸紅(株)
- (株)ユニクロ
- 大塚製薬(株)
- (株)キーエンス
- (株)バンダイ
- (株)日立製作所
- 富士通(株)

旅行・交通・運輸業

- (株)近鉄エクスプレス
- 日本通運(株)
- 日本航空(株)
- (株)星野リゾート・マネジメント
- (株)エイチ・アイ・エス
- (株)オリエンタルランド
- (株)JTB
- (株)東京ドーム
- 東武トップツアーズ(株)
- (同)ユー・エス・ジェイ

建設・不動産・賃貸・その他サービス業

- 鹿島建設(株)
- ミサワホーム(株)
- オリックス(株)
- セコム(株)
- テクノソリューション・アドバンス(株)
- (株)リクルート

金融業・保険業

- アフラック生命保険(株)
- SMBC日興証券(株)
- 第一生命保険(株)
- 三井住友海上火災保険(株)
- 大和証券(株)
- 野村證券(株)
- プルデンシャル生命保険(株)
- (株)みずほフィナンシャルグループ
- (株)三井住友銀行
- 三菱UFJ信託銀行(株)

公務員・教員・教育支援業

- 教員
- 地方公務員(県庁・市役所・区役所等)
- 外務省 専門職員
- 防衛省 専門職員
- 国税専門官
- (株)湘南ゼミナール

TOPICS

資格取得

専門的な資格を取得し、将来の進路に生かしたいと考えている皆さんのために、本学では学部の授業に加え、所定の単位を修得することにより、教員免許状・学芸員・社会教育主事・司書・司書教諭の5つの資格を取得することが可能です。

▶ 本学部で取得可能な教員免許

- 中学校および高等学校教諭一種免許状「英語」
- 中学校教諭一種免許状「社会」
- 高等学校教諭一種免許状「地理歴史」「公民」

TOPICS

各種助成

学生の皆さんの挑戦をサポートするため、国際日本学部では以下の受験料助成を用意しています。

▶ 対象試験一覧

- TOEFL iBT 1年生
- TOEIC L&R 公開テスト 3・4年生
- ニュース時事能力検定 準2級以上 全年生

国際日本学部卒業生からのメッセージ

商社

相手の視点に立った
「伝える力」で、
世界の食と日本をつなぐ

兼松株式会社 勤務

園田 真央さん

2025年卒業

静岡県立焼津中央高等学校卒業



総合商社で、海外産豚肉の輸入通関や受発注管理など、物流の基盤を支える業務に携わっています。小さなミスが商品到着の遅れに繋がるため、常に正確性を意識して業務を行っており、日本の食卓へ安全に食品を届けることに大きなやりがいを感じています。在学中に学んだのは、相手の背景を想像するコミュニケーションです。特に中野区内でのフィールドワークを取り入れた「やさしい日本語」の授業や留学生との交流を通じ、相手の視点に立って分かりやすく伝える姿勢を徹底的に磨きました。この力は今、立場の異なる海外の取引先や社内関係者との調整業務で活かしています。「どう伝えれば正確に理解してもらえるか」を常に考え行動することで、周囲との信頼を築いています。国際日本学部は、多様な価値観に触れ、世界を広げられる場所です。皆さんも自分なりの学びを見つけてください。

運輸・交通

空の現場で活きている
多様な背景・価値観と
向き合う力

日本航空株式会社 勤務

鶴間 茜さん

2025年卒業

茨城県立牛久栄進高等学校卒業



航空会社で客室乗務員として働いています。安全な運航を支える役割を担い、一つ一つの場面に心を配りながら、お客さまに心地よい時間を届けることを大切にしています。旅立ちや再会など、それぞれの想いを抱えて機内にいらっしゃるお客さま一人一人に寄り添い、「ありがとう」と言ってもらえる瞬間に大きなやりがいを感じています。国際日本学部では、インドネシアでのボランティア留学やゼミナール活動を通して、言葉だけでは捉えきれない他者の背景や価値観を理解しようとする姿勢を学びました。多様な人々と関わる中で身についたこうした姿勢は、現在の仕事において確かな支えとなっています。将来やりたいことが明確でなくても、国際日本学部には自分に合った興味や関心を深められる環境があります。ぜひ国際日本学部で、世界と日本の両方に目を向けながら、自分なりの学びを深めてみてください。

その他サービス業

学部で学んだ
「多文化共生」の
考えを広め、
よりよい社会へ

フォースパレー・

コンシェルジュ株式会社 勤務

大島 沙也さん

2023年卒業

愛知県立千種高等学校



世界中から国境を越えたハイスキル人材の採用定着支援を行うベンチャー企業に勤務。入社後すぐ、外国籍の方が日本で生活しやすくなるサービスを創り、ビジネスとして成立できるようにする新規事業の立ち上げプロジェクトを任せられました。ベンチャーならではの刺激的な経験をしている毎日です。もともと「多文化共生」を学ぶために国際日本学部に進学。「多文化共生のまちづくり」をテーマに掲げる山脇啓造教授ゼミでの学びが今の仕事に直結しています。今後は事業開発のスキルを身につけ、多文化共生社会の推進に役立つビジネスをつくるのが夢。国際日本学部は、国際的な視野を持ちながら幅広く勉強したい人に最適だと思います。行動力があり、多様な考え方を持つ人が多く、刺激的な日々を送れるはず。皆さんの大学生活が学びが多く、豊かになるよう祈っています。

サービス

交換留学と
北欧研究を通じて
自分の視野が
飛躍的に開けた

株式会社オリエンタルランド 勤務

中村 太星さん

2024年卒業

東京都立新宿高等学校卒業



テーマパーク内にあるレストランのスーパーバイザーとして、店舗の数値管理や人材育成を担当しています。社会的な期待も大きい職場で、ゲストはもちろんキャストにも寄り添い、充実した時間を創出することがやりがいです。在学中の学びで特に印象的だったのは、北欧研究。半年間に及ぶデンマーク・コペンハーゲン大学への交換留学は、新鮮な学びと発見に満ちていました。社会システムや人々の暮らしについて、現地まで足を運んで日本と比較できたことで、自身の視野が飛躍的に広がったことを覚えています。また、入学当時は全く話せなかった英語が、日常会話レベルで問題なく話せるようになったことも、大きな成長でした。パークには外国からもお客様が来られるため、在学中に磨いた語学力は今も役立っています。今後は開発部門にも携わり、新たな価値の提供に貢献することが目標です。

教員紹介・研究テーマ ※2026年4月1日現在 ※退職等により変更となる場合があります。

科目	氏名	研究テーマ
応用言語学	青山 拓実	日本の学習環境における第二言語学習者の心理、第二言語学習のプロセス、第二言語学習動機
日本語の文法/日本語	安高 紀子	日本語学習者の「話す」「書く」能力の育成と評価
メディア・アート	荒木 悠	異文化間の差異や摩擦を主題とした映像表現の実践と可能性について
English	Ito Maitland, Alexander	Curriculum design and student attitudes in EFL classrooms.
国際関係論	Vassiliouk, Svetlana	Japan's foreign relations in the Indo - Pacific Region ; Russia-Japan Relations ; Russia's Arctic policy
フランス語圏文化論	鶴戸 聡	フランス語圏アラブ=ベルベル文学、地中海文学、台湾語文化
日本的ものづくり論	呉 在垣	日本的ものづくり・システムの国際競争力、その海外移転、各国ものづくり・システムとの比較
英語学	大矢 政徳	依存文法の枠組みに基づいた自然言語の統語構造の明示的定量的比較対照研究
組織マネジメントと文化/知的財産と企業戦略	小笠原 泰	テクノロジー革新と融合するグローバル化による国家、企業、個人間でのパワーシフト・バランスについての研究
広告とメディア	小野 雅琴	広告等のマーケティング・コミュニケーションの様々な情報が、消費者の製品評価に与える影響をテーマに、現象を包括して説明する理論モデルを構築し、実証する研究
English	Garside, Paul	Development of fluency and interactional competence
インターネットと社会/共生と学びのデザイン論	岸 磨貴子	教育工学、学習環境デザイン、アートベース・リサーチ
アジア太平洋政治経済論	金 ゼンマ	アジア国際関係論、アジア太平洋の制度的経済統合とTPP、FTAをめぐる政策決定過程の日韓比較
ホスピタリティ・マネジメント論	Mary, Quek	ホスピタリティマネジメント、ホテル経営史、観光業
近現代日本文学	小谷 瑛輔	日本近代文学、文学理論、文芸批評、近現代日本文化
日本語の語彙/日本語	小森 和子	第二言語としての日本語の習得の難易を決定づける認知的・言語的要因の解明
ダイバーシティと社会	近藤 佐知彦	談話の点検を通じた社会での自明性演出や正当化課程の分析、ならびに多文化理解・ダイバーシティ教育
メディア社会学/日本のジャーナリズム	酒井 信	現代的な情報環境におけるメディア・リテラシーのあり方に関する研究
ツーリズム・マネジメント	佐藤 郁	観光学、ツーリズムを通じた産学地域連携、観光地のマネジメント
日本社会システム論/ヨーロッパ政治経済論	鈴木 賢志	国民の価値意識と社会心理、日本と北欧を中心とした社会システムの国際比較
映像文化論/映画史概論	瀬川 裕司	映画分析の方法論、映画ジャンル論、娯楽文化研究
テクノロジーと日本社会	田中 絵麻	ICT政策論、コンテンツ産業論、メディア・リテラシー論
日本語学/日本語の歴史	田中 牧郎	日本語語彙の歴史的研究
比較文化学/東アジア文化交流史	張 佳能	大衆音楽を中心とするカルチュラル・スタディーズ
武道文化論/スポーツ・身体運動文化	長尾 進	日本武道の特性と、その国際展開に伴う諸問題について
舞台芸術論/日本とドイツ	萩原 健	現代の舞台芸術(主に日本とドイツ)
日本の文化伝統	馬場 小百合	日本上代文学における漢字表現、韻文の役割について
海外留学入門/国際教育学	ピニロス マツダ, デレク K.	国際教育学視点の移動する人々の文化的アイデンティティの変容、高等教育の国際化
異文化間教育学/インクルーシブ・リーダーシップ	平井 達也	多文化共修を通しての多様性理解、キャリアカウンセリングとポジティブ心理学を活用した幸せな生き方の創造、自分らしいリーダーシップの開発など
心理と言語	廣森 友人	外国語学習の科学:理論・研究・実践
漫画文化論/ジェンダーと表象	藤本 由香里	少女マンガ。特に「性別越境」や価値観・表現の変化を追う。世界に広がるBLと各地のLGBT。マンガの国際比較論
English	Frazier, Erin	CALL in TESOL using virtual reality (VR), augmented reality (AR), artificial intelligence (AI)
English	McLoughlin, David A.	Second language learning motivation; second language learners' causal attributions; the role of affect in self-directed language learning.
アカデミック・ICTリテラシー/学術的文章の作成/国際日本学基礎演習	眞崎 光司	ゼミナールにおける学習、大学教育
日本表象文化論	眞嶋 亜有	学際的日本研究:生活文化・ジェンダーと家族・心性に関する日米比較を中心に
世界のなかのアフリカ/アフリカと近現代世界	溝辺 泰雄	アフリカ独自の近代化・自立的発展論に関する歴史的研究
宗教と哲学/日本の哲学	美濃部 仁	西田幾多郎とドイツ観念論における絶対的なもの研究
日本漫画史/アニメーション文化論	宮本 大人	漫画、アニメーションの歴史的研究。特に昭和戦前・戦中期における戦争とのかわり
日本先端文化論/現代都市とデザイン	森川 嘉一郎	漫画・アニメ・ゲームを中心とする現代日本の輸出文化、およびそのアーカイブ構築や展示手法の研究。都市、建築デザイン
日本語の音声/日本語	柳澤 絵美	日本語の音声知覚にかかわる手がかりの解明とその発音教育への応用
多文化共生論/移民政策論	山脇 啓造	日本の外国人政策および多文化共生のまちづくり
English	Rugen, Brian D.	Literature and language teaching; discourse and identity; English language teacher education
日本の宗教/比較宗教論	Ward, Ryan M.	近代日本宗教史、死生観

入試情報

明治大学は、一般選抜入試(学部別入試・全学部統一入試・大学入学共通テスト利用入試)において、Web出願を導入しています。パソコン・スマートフォン・タブレットから出願できます。

※詳細は、入試要項を必ず確認してください。
 ※特別入試・推薦入試では、Web出願を行いません(外国人留学生入試とイングリッシュ・トラック入試を除く)。

学部別入学試験

方式	募集人員	時限	試験時間	出題教科・科目		配点	試験場	
2科目方式	80名	1時限	60分	国語	「国語」(現代の国語、言語文化) ※漢文の独立問題は出題しない	150点	本学キャンパスのみ ※中野・生田キャンパスは使用しません。	
		2時限	80分	外国語	「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)	200点		
合計(2科目)						350点		
英語4技能試験活用方式	70名	1時限	60分	国語	「国語」(現代の国語、言語文化) ※漢文の独立問題は出題しない	150点		
		—	—	—	(英語4技能資格・検定試験のスコアを出願資格として利用)	—		
合計(1科目)						150点		
大学入学共通テスト併用型3科目方式	20名	1時限	60分	国語	「国語」(現代の国語、言語文化) ※漢文の独立問題は出題しない	150点		
		2時限	80分	外国語	「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)	200点		
		下記の科目から1科目を選択。2科目を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。						
		—	—	地理歴史	大学入学共通テスト「歴史総合、世界史探究」 大学入学共通テスト「歴史総合、日本史探究」	100点		
合計(3科目)						450点		
大学入学共通テスト併用型英語4技能試験活用方式	20名	1時限	60分	国語	「国語」(現代の国語、言語文化) ※漢文の独立問題は出題しない	150点		
		—	—	—	(英語4技能資格・検定試験のスコアを出願資格として利用)	—		
		下記の科目から1科目を選択。2科目を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。						
		—	—	地理歴史	大学入学共通テスト「歴史総合、世界史探究」 大学入学共通テスト「歴史総合、日本史探究」	100点		
合計(2科目)						250点		

2027年	出願期間(消印有効)	入学試験日	合格発表日時	入学手続締切日(消印有効)
	[1月7日(木)～1月21日(木)]	2月9日(火)	2月16日(火) 9:30	3月1日(月)

全学部統一入学試験

方式	募集人員	時限	出題教科・科目		配点	試験場		
3科目方式	20名	1時限	外国語	「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ) ※配点100点を200点に換算する。	200点	東京 (駿河台・和泉・中野キャンパス) 神奈川 (生田キャンパス) 札幌 仙台 名古屋 大阪 広島 福岡		
		2時限	国語	「国語」(現代の国語、言語文化) ※漢文を除く	100点			
		下記の4教科8科目から1科目選択。2科目を受験した場合には、高得点の科目を合否判定に利用する。						
		3時限	地理歴史	地理歴史(「歴史総合、世界史探究」「歴史総合、日本史探究」「地理総合、地理探究」)、公民(「公共、政治・経済」)、理科(「物理」「物理基礎、物理」)、「化学」(「化学基礎、化学」)、「生物」(「生物基礎、生物」)から1科目選択	100点			
4時限	数学	「数学②」(「数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B」「数Ⅱ、統計的な推測」、数学C「ベクトル」)	400点					
合計(3科目)							400点	
英語4技能3科目方式	25名	—	◇外国語	◇英語4技能資格・検定試験のスコアが所定の基準を満たす者のみ出願可能。1時限目外国語の試験は免除とし、スコアに応じた得点を「英語」の得点として付与する。なお1時限目外国語を受験した場合でも、その得点は利用しない。 ※配点100点を200点に換算する。	200点			
		2時限	国語	「国語」(現代の国語、言語文化) ※漢文を除く	100点			
		下記の4教科8科目から1科目選択。2科目を受験した場合には、高得点の科目を合否判定に利用する。						
		3時限	地理歴史 公民、理科	地理歴史(「歴史総合、世界史探究」「歴史総合、日本史探究」「地理総合、地理探究」)、公民(「公共、政治・経済」)、理科(「物理」「物理基礎、物理」)、「化学」(「化学基礎、化学」)、「生物」(「生物基礎、生物」)から1科目選択	100点			
4時限	数学	「数学②」(「数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B」「数Ⅱ、統計的な推測」、数学C「ベクトル」)	400点					
合計(3科目)						400点		

2027年	出願期間(消印有効)	入学試験日	合格発表日時	入学手続締切日(消印有効)
	[1月7日(木)～1月18日(月)]	2月5日(金)	2月16日(火) 9:30	3月1日(月)

※試験地については、東京・神奈川・札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡の8会場の中から1つを受験生が出願時に選択します。
 東京(本学キャンパス)を選択した場合、受験キャンパスは本学が指定します。また、志願状況により、神奈川(本学キャンパス)を選択しても東京(本学キャンパス)となる場合があります。

大学入学共通テスト利用入学試験

方式	募集人員	出題教科・科目		配点	
3科目方式	30名	国語	「国語」	200点	
		外国語	「英語」 ※リーディング100点、リスニング100点とする。	200点	
		下記の科目のうちから1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。「地理歴史」「公民」および「理科」は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。 ※大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。			
		地理歴史	「地理総合、地理探究」、『歴史総合、世界史探究』、『歴史総合、日本史探究』	200点	
		公民	「公共、倫理」、『公共、政治・経済』		
		数学	「数学Ⅰ、数学A」、『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
		理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』		
情報	「情報Ⅰ」				
合計(3科目)				600点	
5科目方式	15名	国語	「国語」	200点	
		外国語	「英語」 ※リーディング100点、リスニング100点とする。	200点	
		数学	「数学Ⅰ、数学A」 ※大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	200点	
		下記の科目のうちから2科目を選択。3科目以上を受験した場合には、高得点の2科目の成績を合否判定に利用する。同一教科内について、2科目の使用も可。「地理歴史」「公民」および「理科」は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。 ※大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。			
		地理歴史	「地理総合、地理探究」、『歴史総合、世界史探究』、『歴史総合、日本史探究』	400点 (200点×2)	
		公民	「公共、倫理」、『公共、政治・経済』		
		数学	「数学Ⅱ、数学B、数学C」		
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』				
情報	「情報Ⅰ」				
合計(5科目)				1000点	

2027年	出願期間(消印有効)	入学試験日(大学入学共通テスト)	合格発表日時	入学手続締切日(消印有効)
	[1月7日(木)～1月15日(金)]	[1月16日(土)・1月17日(日)] 「令和9年度大学入学共通テスト受験案内」を参照してください。	2月16日(火) 9:30	3月1日(月)

※個別学力検査等は課しません。

特別入学試験 ※詳細は、各入試要項を必ず確認してください。

試験種類	募集人員	出願期間	入学試験日	試験科目	
外国人留学生入学試験(Ⅰ型)	40名	2026年8月25日(火)～9月1日(火)	第一次選考	—	書類選考
外国人留学生入学試験(Ⅱ型)			第二次選考	2026年12月19日(土)	口頭試問
自己推薦特別入学試験	12名	2026年9月7日(月)～2026年9月10日(木)	第一次選考	—	書類選考
イングリッシュ・トラック 入学試験			第二次選考	2026年11月28日(土)	小論文・口頭試問
9月入学	10名	2027年2～3月(予定)	第一次選考	—	書類選考
			第二次選考	2027年5月(予定)	口頭試問(オンライン)

英語4技能資格・検定試験の活用について ※詳細は、入試要項を必ず確認してください。

【学部別入学試験】

国際日本学部の学部別入学試験(2027年2月9日実施)における英語4技能試験活用方式・大学入学共通テスト併用型英語4技能試験活用方式の志願者で、下記の英語4技能資格・検定試験のいずれかが、所定の基準を満たし、出願時に所定の証明書類を提出できる者のみ出願が可能です。※スコアの証明書類は2025年1月1日以降に受験(実用英語技能検定については、証明書記載の受験回が2024年度第3回以降のものを有効とする)し、かつ出願締切日までに提出できる1種類かつ1回のものに限ります。提出後の証明書類の差し替え、返却はできません。

① 合否の判定

● 英語4技能試験活用方式

「国語」(配点150点)の1科目の得点で合否を判定します。

● 大学入学共通テスト併用型英語4技能試験活用方式

「国語」(配点150点)「地理歴史(大学入学共通テスト)」(配点100点)の2科目の総合点(計250点満点)で合否を判定します。

② 同一試験日における学部内方式間併願

英語4技能試験活用方式、大学入学共通テスト併用型英語4技能試験活用方式、両方式の併願が可能です。なお、英語4技能試験を活用しない2科目方式、大学入学共通テスト併用型3科目方式と併願する場合は、国際日本学部学部別入学試験当日における2時限目『外国語(英語)』の受験が必須です。

③ 出願に必要な等級またはスコア基準(等級または総合スコア)

(英語4技能試験活用方式・大学入学共通テスト併用型英語4技能試験活用方式共通)

試験の種類	必要な等級または総合スコア
実用英語技能検定(英検)【従来型、S-CBT、S-Interview】	準1級以上合格
TEAP ※4技能パターンに限る ※TEAP CBTは不可	309以上
TOEFL iBT ※Home Editionは不可 ※「MyBest Scores」の活用は不可	2026年1月20日以前受験 72以上 2026年1月21日以降受験 4以上
IELTS(アカデミックモジュールに限る) ※IELTSコンピューター版含む ※IELTS Onlineは不可 ※「One Skill Retake」の活用は不可	5.5以上
TOEIC L&R & TOEIC S&W ※IPテストのスコアは不可	L & Rで785以上かつ S & Wで310以上
GTEC(CBTタイプに限る)	1180以上
ケンブリッジ英語検定 ※Linguaskillは不可	160以上

【全学部統一入学試験】

全学部統一入学試験(2027年2月5日実施)における国際日本学部英語4技能3科目方式の志願者で、下記の英語4技能資格・検定試験のいずれかが、所定の基準を満たし、出願時に所定の証明書類を提出できる者のみ出願が可能です。

※スコアの証明書類は2025年1月1日以降に受験(実用英語技能検定については、証明書記載の受験回が2024年度第3回以降のものを有効とする)し、かつ出願締切日までに提出できる1種類かつ1回のものに限ります。提出後の証明書類の差し替え、返却はできません。

● 全学部統一入学試験・英語4技能3科目方式

① 合否の判定

1時限目『外国語』の試験は免除とし、所定の等級またはスコアに応じて『外国語(英語)』の得点換算点を付与します。『英語4技能資格・検定試験に応じた得点換算点』と、『2・3・4時限目において学部・方式が指定する科目の合計点』との総合点で合否を判定します。

② 同一試験日における

学部内方式間併願

国際日本学部の英語4技能3科目方式と、3科目方式の併願が可能です。併願する場合は、全学部統一入学試験当日における1時限目『外国語(英語)』の受験が必須です。

③ 出願および得点換算に必要な等級または総合スコア(最低点)

試験の種類	英語4技能3科目方式(『外国語』配点:200点)得点換算点		
	160点	180点	200点
実用英語技能検定(英検) 【従来型、S-CBT、S-Interview】	2級合格かつCSE2.0スコア1980 ^(注1)	2級合格かつCSE2.0スコア2088 ^(注1)	準1級合格 ^(注1)
TEAP ※4技能パターンに限る ※TEAP CBTは不可	225	253	309
TOEFL iBT ※Home Editionは不可 ※「MyBest Scores」の活用は不可	2026年1月20日以前受験 42以上 2026年1月21日以降受験 3以上	2026年1月20日以前受験 52以上 2026年1月21日以降受験 3.5以上	2026年1月20日以前受験 72以上 2026年1月21日以降受験 4以上
IELTS(アカデミックモジュールに限る) ※IELTSコンピューター版含む ※IELTS Onlineは不可 ※「One Skill Retake」の活用は不可	4.0	4.5	5.5
TOEIC L&R & TOEIC S&W ※IPテストのスコアは不可	総合スコアで790かつ L & Rで550かつS & Wで240	総合スコアで890かつ L & Rで625かつS & Wで260	総合スコアで1095かつ L & Rで785かつS & Wで310
GTEC(CBTタイプに限る)	930	1013	1180
ケンブリッジ英語検定 ※Linguaskillは不可	140	147	160

(注1) 実用英語技能検定について

○得点160点・180点換算は2級合格者のCSEスコア(CSE2.0)を活用します。他の級で同等のCSEスコアを有していても得点換算の対象となりません。
○得点200点換算については準1級以上の級合格を対象とし、CSEスコアは活用しません。

明治大学国際日本学部がわかる9つのポイント

「国際日本」って?

目的をもったリベラルアーツ



日本と世界
をつなぐ!

グローバルな進路

あらゆる舞台で活躍



世界とつながる
働き方

学科・科目

組み合わせて化学反応を



1学科7領域から
選び放題

国際・留学

体験を通して世界とつながる



洗練された
国際感覚を

英語

4技能を徹底して磨く



少人数のレベル別

社会の最先端を学ぶ

eスポーツから生成AIまで



社会の変化・変曲点
を読む

多文化共生

世界各国から集う仲間



5人に1人
が留学生

日本語

日本を学ぶ日本語



少人数のレベル別

ゼミナール

アクティブにつながる



2年生から

詳しくはこちらを**CHECK!**

受験生のための学部選択ガイド Step into Meiji University

<https://www.meiji.ac.jp/stepinto/nippon>



LINE @meijexam

一人ひとりにぴったりの入試やイベントの情報をお知らせ。LINEだけのイベントもやってるよ!!



登録してくれた?

● 明治大学入試総合サイト

<https://www.meiji.ac.jp/exam/>

